Panasonic

取扱説明書

パーソナル MD システム

品番　RX-MDX81

このたびは、パーソナル MD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ■ **ご使用の前に「安全上のご注意」(4 ～ 6 ページ) を必ずお読みください。**
- ■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- ■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

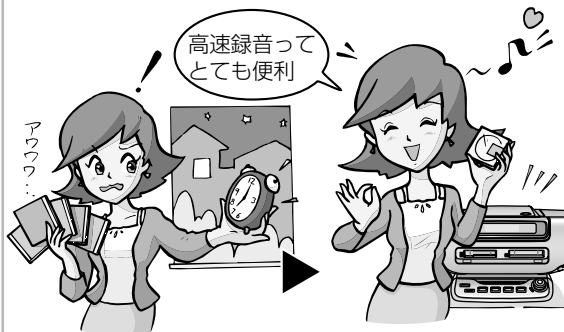
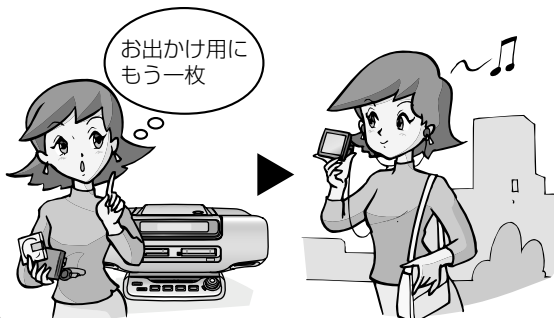
上手に使って上手に節電

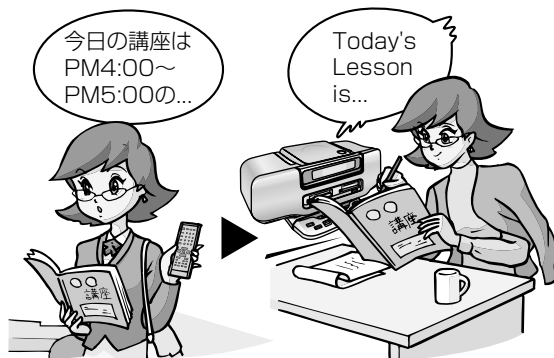
保証書別添付

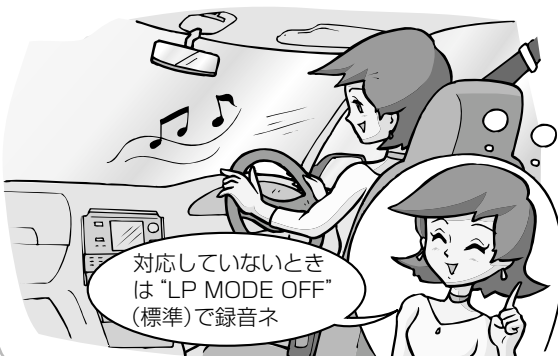
RQT7127-7S

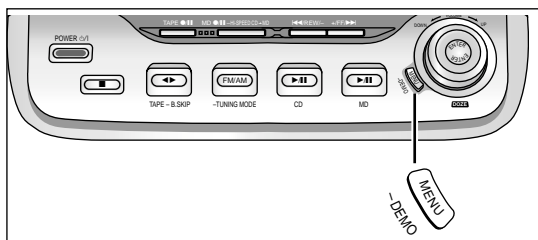
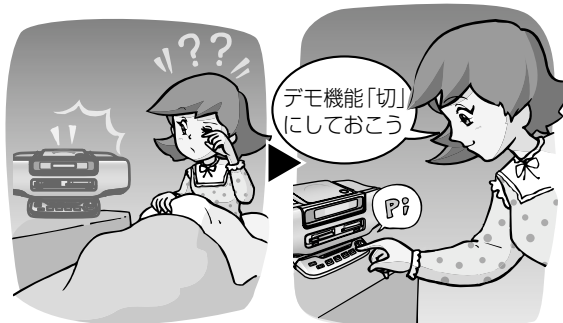
すばやくMDに録音 ☞30ページ

高速録音を使えば、短時間で録音できます。

大好きなMDをもう一枚 ☞48ページ

ポータブルMDから本機のMDに録音できます。

ラジオ講座も忘れず録音 ☞45ページ

予約した時間に録音できる“留守録タイマー”が便利です。

車でMDを再生 ☞24ページ

カーオーディオが MD**LP** に対応しているかご確認ください。

電源「切」時の表示部の変化について

電源を切っても、表示部が自動的に点灯して変化します。**(デモ機能)**

デモ機能を「切」にするには

デモ機能動作中に
“DEMO OFF”と表示するまで押し続ける

DEMO OFF

押し続けるたびに
DEMO OFF (切) ⇄ DEMO ON (入)

本機の時計を合わせる (➡ 42ページ) と、デモ機能は自動的に「切」になります。

確認と準備

再生

録音

もっと使いこなす

もしも必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

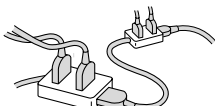
⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは,プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

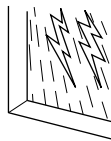
電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ・機器やプラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 警告

ご使用について

機器の上にものを載せない

- 機器内に入った場合、火災や感電の原因になります。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

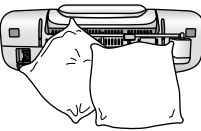
- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

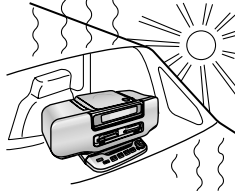
分解、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠ 注意

設置について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
- 後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は誤った使い方をしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

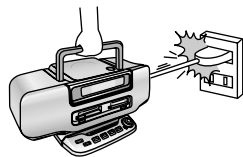
- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

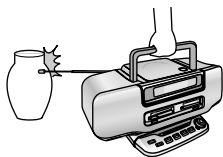
⚠ 注意

ご使用について

ひび割れ、変形したディスクやハート型などの特殊形状のディスクは使わない

● 高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
● 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

コードを接続した状態で移動しない

● 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
● また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

● アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

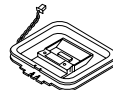
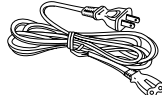
機器に乗らない

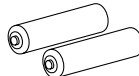
● 破損して、けがの原因になることがあります。
● 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

● 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

付属品の確認

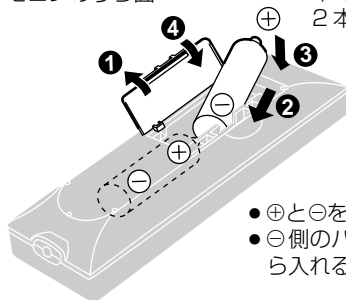
□ AM ループアンテナ ....1 本
（品番 G0ZZ00002036）

□ 電源コード..................................1 本
（品番 RJA0012-K）

□ リモコン.....................................1 コ
（品番 EUR7711090）

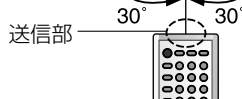
□ リモコン用単 3 形乾電池 ....2 本

● 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
カッコ（　　）内は、買い替え時の品番です。
● 付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

リモコンの準備

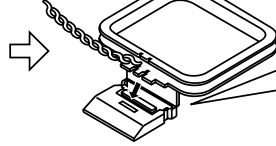
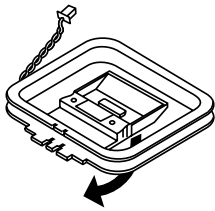
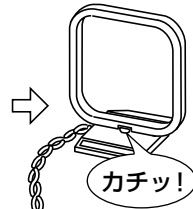
乾電池（付属）の入れ方

リモコンのうら面

単 3 形乾電池
2 本（付属）

● ⊕と⊖を正しく入れる
● ⊖側のバネを押しながら入れる

リモコンの使い方

■使用上のお願い
● 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
● 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
● 受光部と送信部のほこりに注意。

家庭用コンセントで使います。電池では使えません。

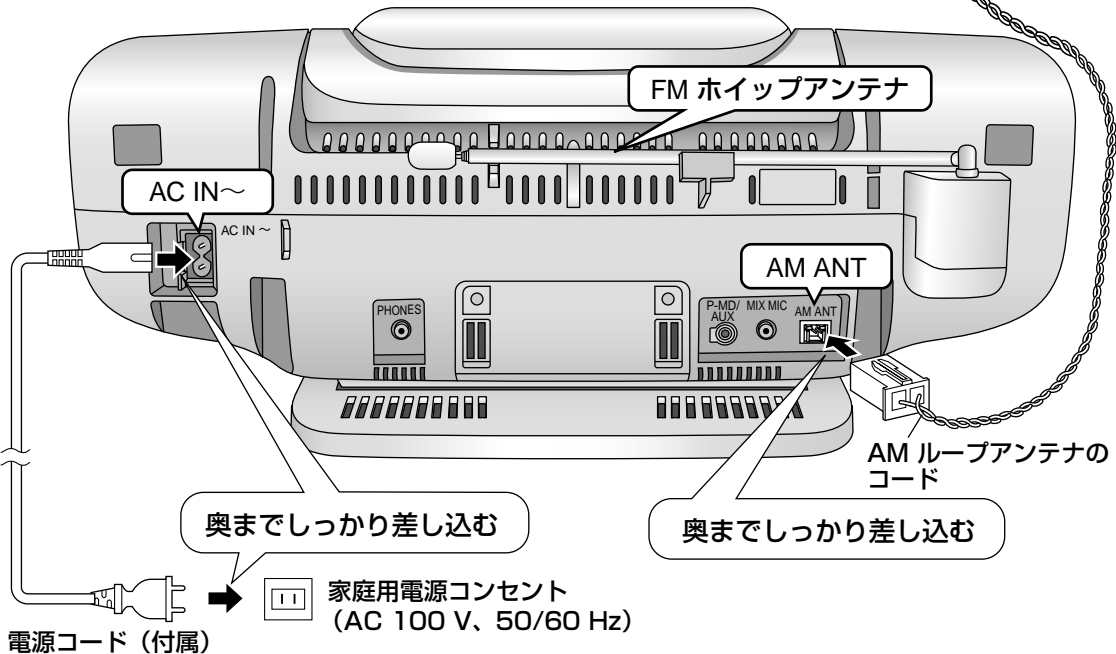
AM ループアンテナ（付属）の組み立てと接続

溝に差し込む

カチッ！

AM ループアンテナを外すには
AM ループアンテナのコードをゆっくりと引っ張る。

FM ホイップアンテナ

AC IN〜

AM ANT

AM ループアンテナのコード

奥までしっかり差し込む

奥までしっかり差し込む

家庭用電源コンセント
（AC 100 V、50/60 Hz）

電源コード（付属）

本機を設置する

本機を聞きやすく、表示が見やすい位置にします。
- 本機の向きを上方向（約 15°）に調節できます。
- オペレーションステージは本機に連動して傾きます。

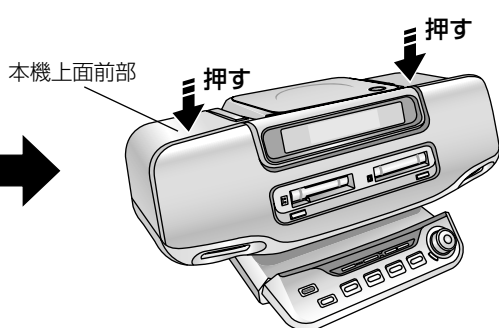
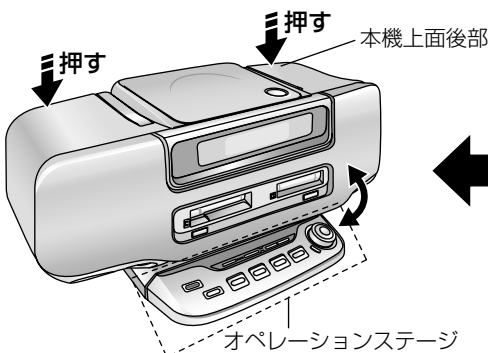
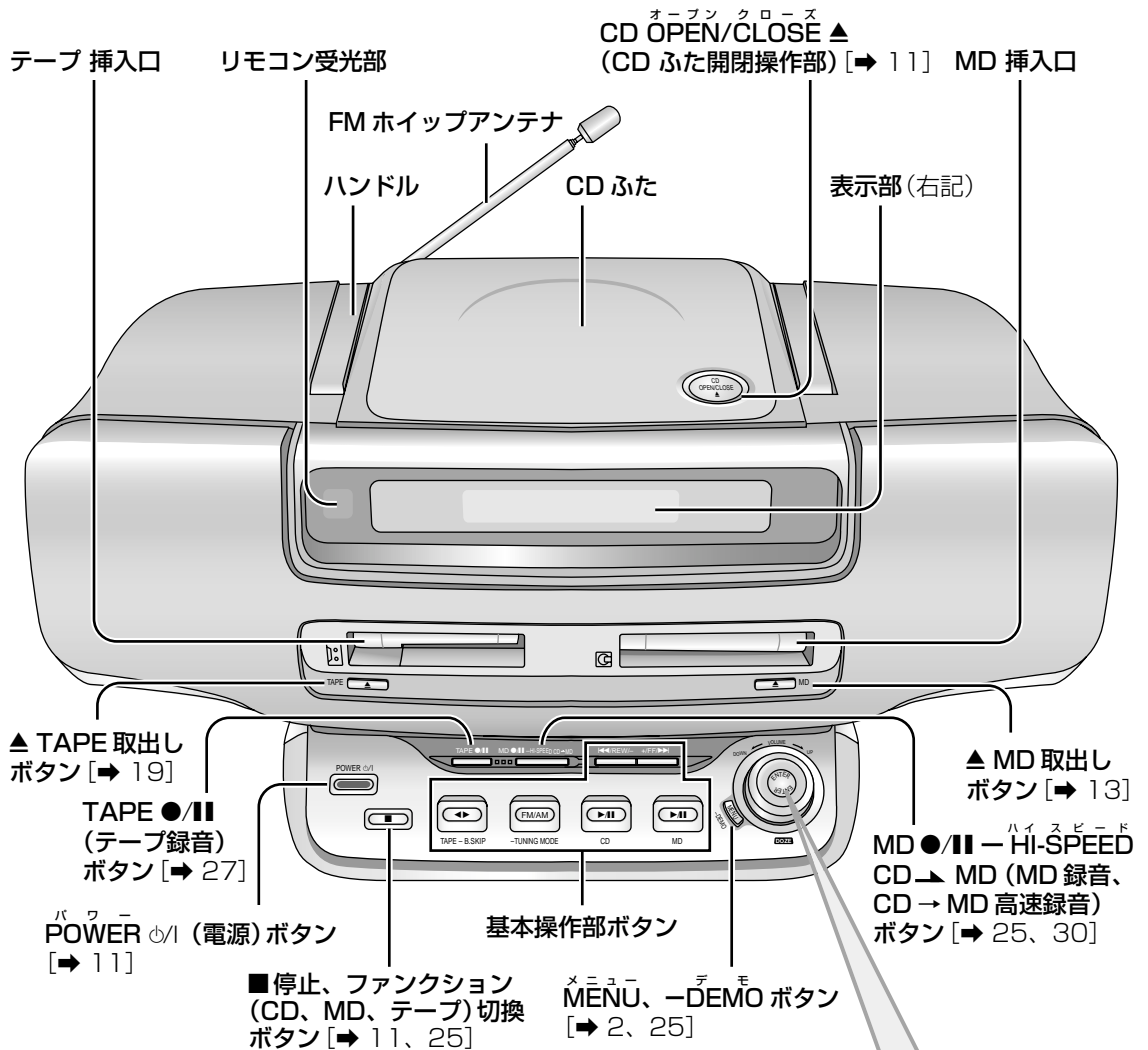
本機の角度を調節するには

両手で本機上面（後部または前部）をゆっくりと押してください。
調節時にオペレーションステージ付近に手をおかれますと指などをはさむ恐れがあります。

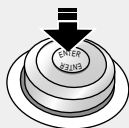
お願い

本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。

各部のなまえ

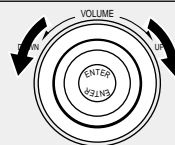
[➡ 11] などの数字は参照ページです。

本体

マルチ JOG の使い方

本機のマルチ JOG には、2 種類の操作方法があります。
2 種類の操作は、それぞれ下記の場合に使用します。

左右に回す
- メニューの内容を選ぶ
- 音量を調節する

[ENTER] を押す
- メニューで選んだ内容を決定する

メニュー選択時は音量を調節できません。
音量を調節するときは、[■] を押して、メニューを解除してください。

本書では、マルチ JOG の使いかたを、次のようにイラストで表しています。

左右に回す

[ENTER] を押す

① 左右に回して
② [ENTER] を押す

表示部

音質・音場効果表示

タイマー動作表示

CD、MD 録音モード表示

MONO 表示

CD、MD 再生モード表示

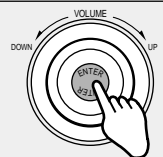
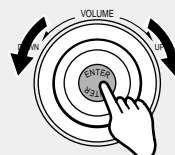
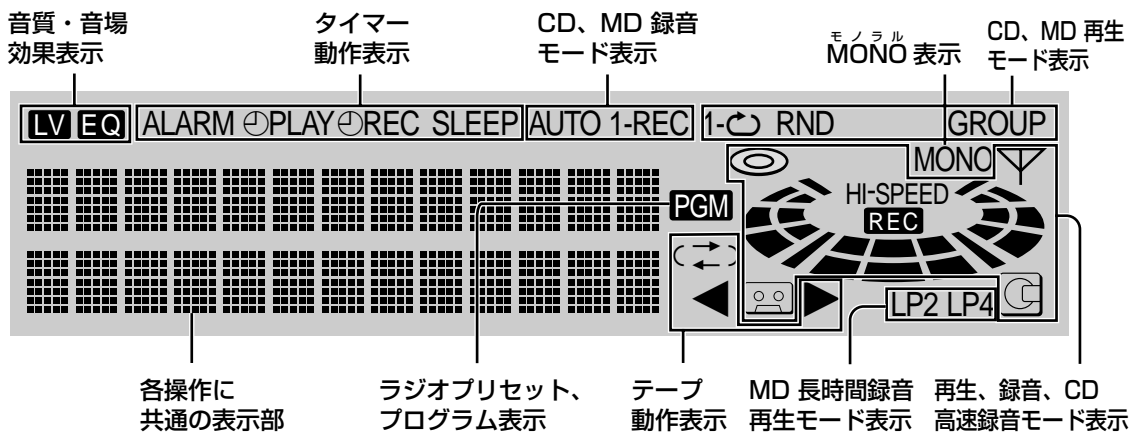
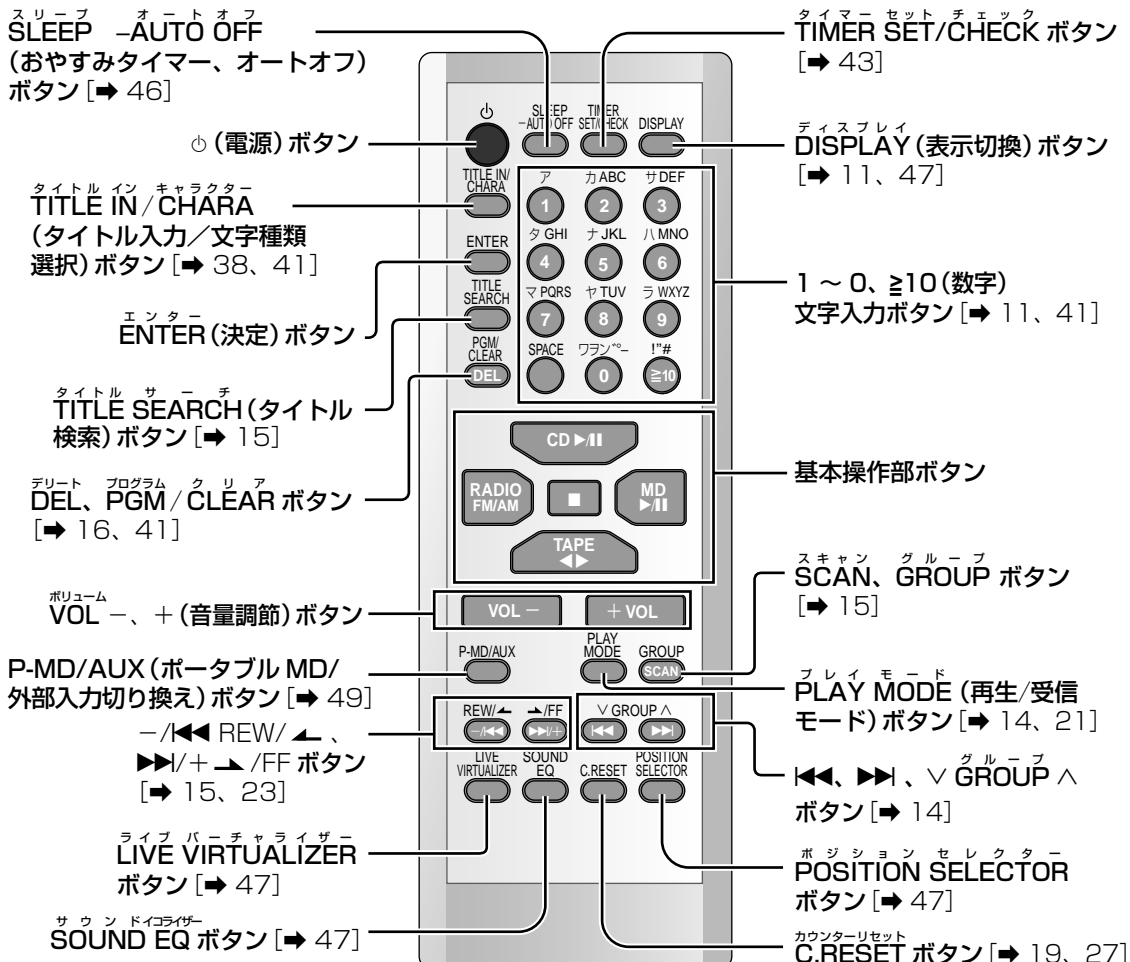
LV EQ　ALARM ◴PLAY◴REC SLEEP　AUTO 1-REC　1-↻ RND　GROUP　MONO　HI-SPEED　REC　PGM　LP2 LP4

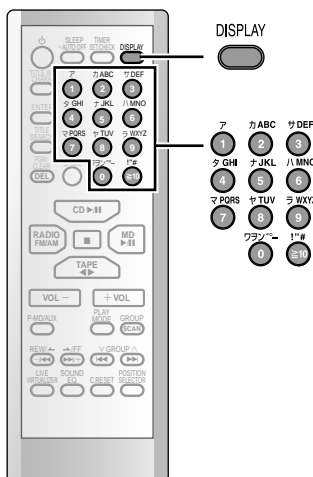
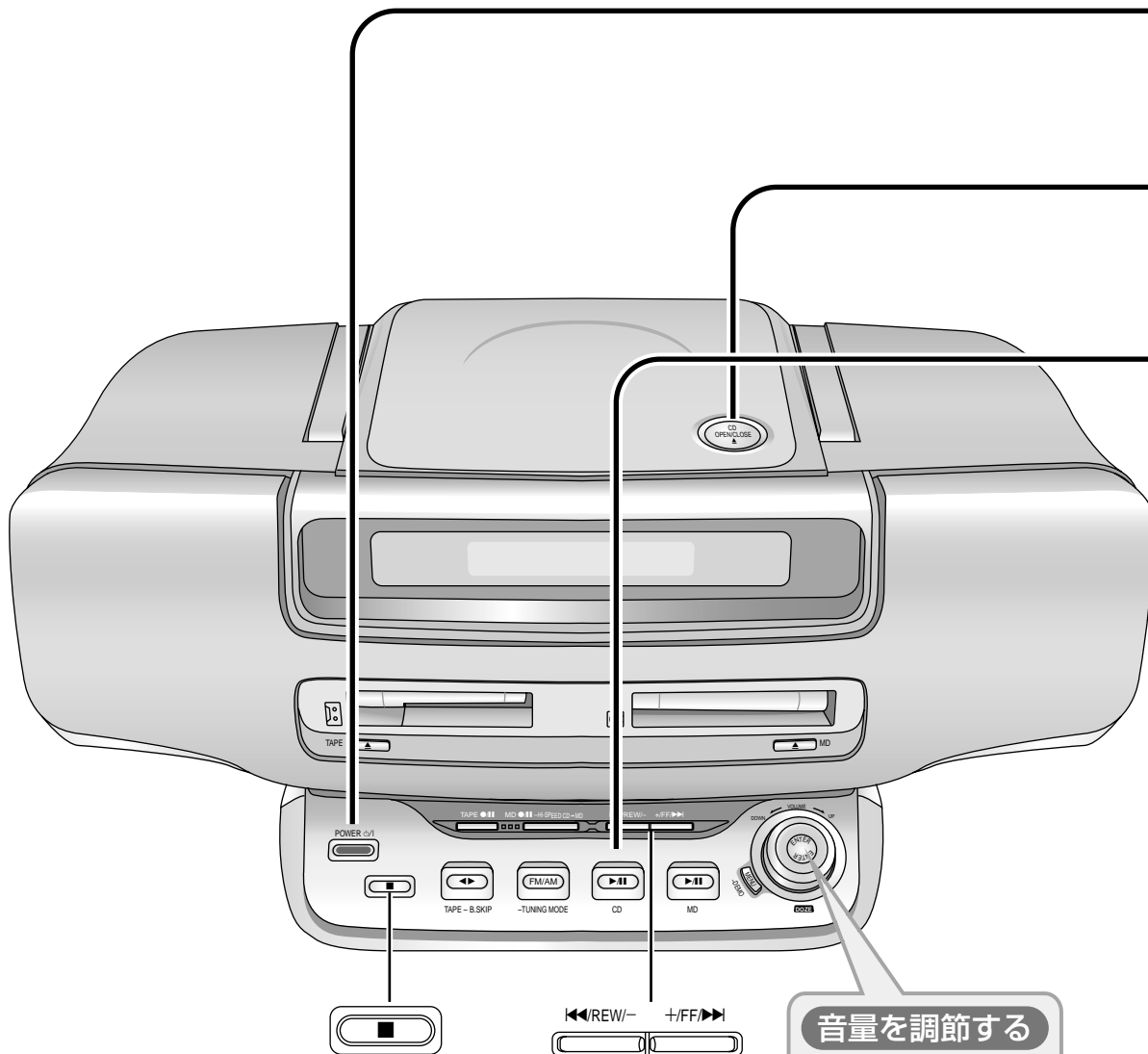
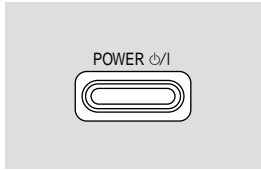
各操作に共通の表示部

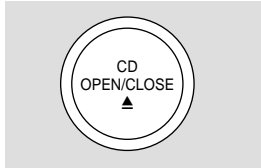
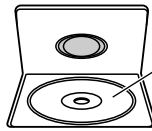
ラジオプリセット、プログラム表示

テープ動作表示

MD 長時間録音再生モード表示

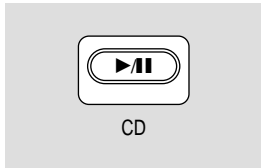
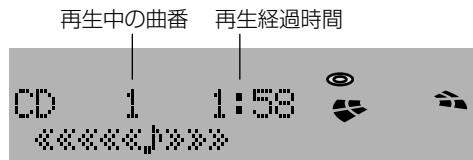
再生、録音、CD 高速録音モード表示

リモコン

CDを聞く

はじめて CD を使用する場合は、52 ページ「CD について」をお読みください。

1

押して
電源を入れる

2

①押してCDふたを開け
CDを入れる
②ふたを閉じる

3

押す
1曲目から再生します。

途中で止める

押す

停止すると総曲数、総再生時間が表示されます。

CD 14 68:25

総曲数　総再生時間

一時停止する

押す
再開するには、もう一度押す。

曲を前後にとび越す（スキップ）

押す

早送り/早戻しする（サーチ）

再生中または一時停止中に
押し続ける

好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）

リモコン

押す

曲番10以上を選ぶには
（例：24）

≧10→2→4

残り時間などの情報を見る

リモコン

DISPLAY

押す

押すたびに、表示部の表示が切り換わります。

CDを取り出す

停止中に
押す
CDふたが開きます。

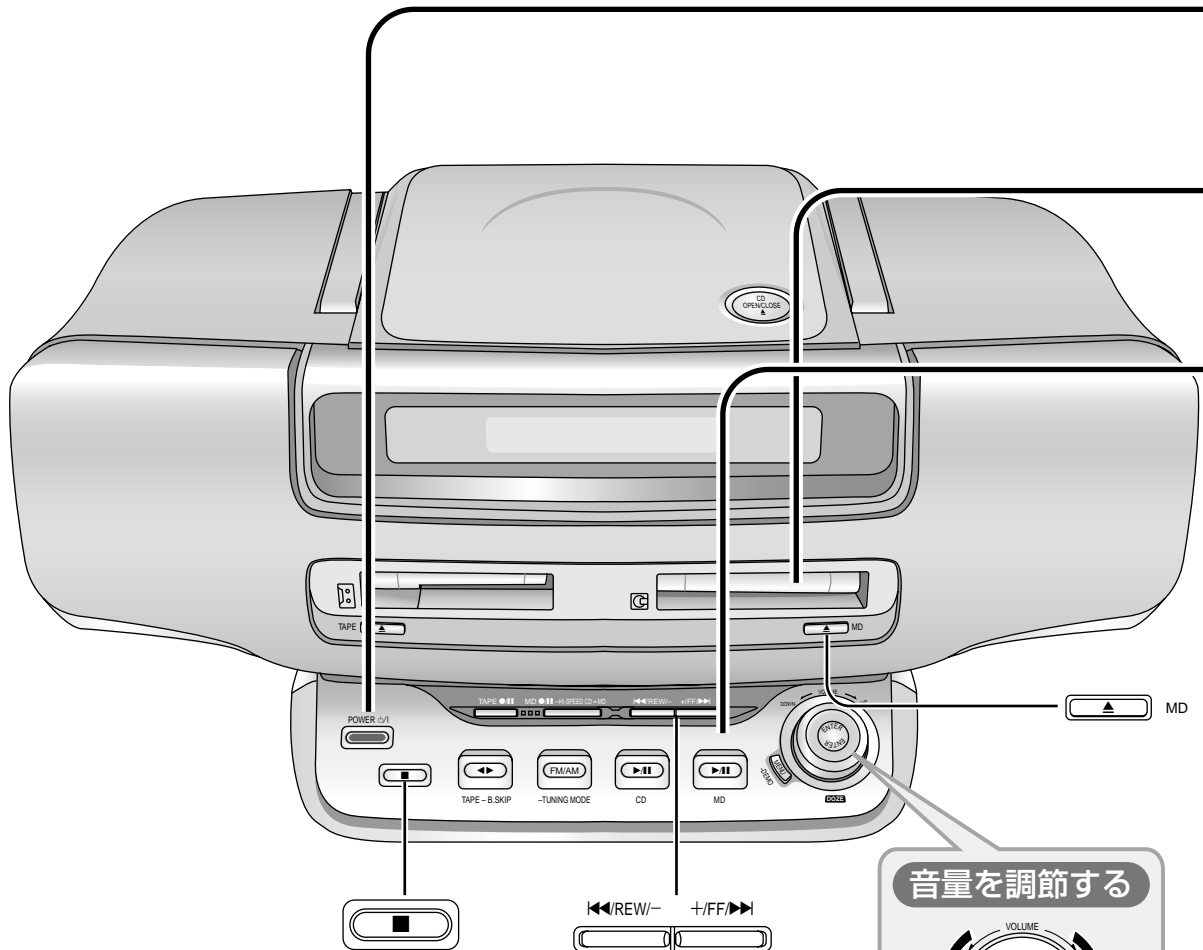
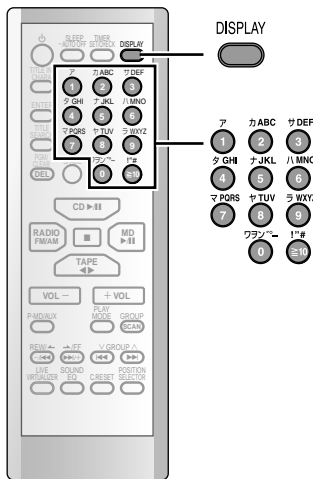
お願い

- **CDを入れてCDふたを閉めた直後や、再生中、一時停止中に、CDふたを開けないでください。CDがターンテーブルから外れて、CDに傷がつく恐れがあります。**
- CDふたを開けるときは、ハンドルを倒した状態で開けてください。

お知らせ

すでにCDが入っているときには、手順**3**から行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

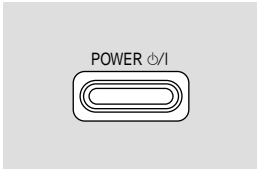
MD を聞く

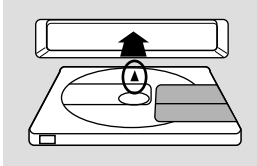
はじめて MD を使用する場合は、51 ページ「MD について」をお読みください。

MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

MDLP は音声圧縮技術によって長時間（2 倍または 4 倍）ステレオ録音、再生できる方式です。
録音したときのモード（LP MODE OFF / LP2 / LP4）に従って再生します。
再生時には、表示部に次のように表示されます。

- 標準時間録音モード（LP MODE OFF）で録音した曲のとき：　表示なし
- 2 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP2”
- 4 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP4”

MD**LP** で録音するには（➡ 24 ページ）

1

押して
電源を入れる

2

録音済み MD を入れる
MD を押し込むと自動的に引き込まれます。

3

押す
1 曲目から再生します。

途中で止める

押す

停止すると総曲数、総再生時間が表示されます。

MD 14 68:25
総曲数　総再生時間

一時停止する

MD

押す
再開するには、もう一度押す。

曲を前後にとび越す（スキップ）

押す

早送り/早戻しする（サーチ）

⏮/REW/−　+/FF/⏭

再生中または一時停止中に**押し続ける**

好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）
リモコン

押す

- 曲番 10 以上を選ぶには（例：24）
  ≧10 → 2 → 4
- 曲番 100 以上を選ぶには（例：235）
  ≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

残り時間などの情報を見る
リモコン

DISPLAY
押す

押すたびに、表示部の表示が切り換わります。

MD を取り出す

MD **押す**

お知らせ

- 他の機器で長時間モノラル録音した MD の曲を、本機で再生すると "MONO" が点灯します。

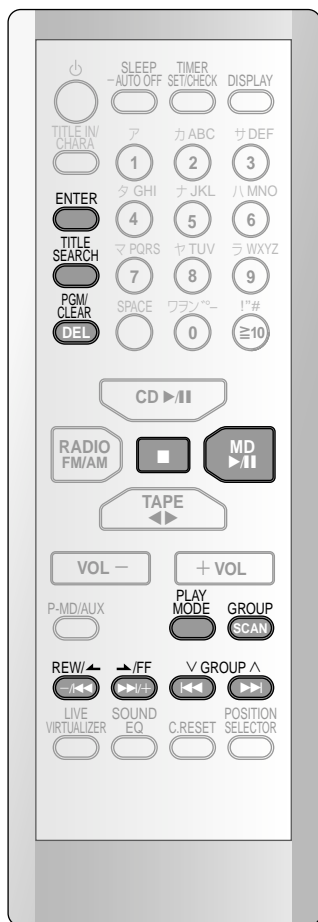
MD 1 1:58 MONO

- すでに MD が入っているときには、手順 **3** から行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

再生

MD の聞きかた

共通の準備

■ 押して“MD”を選ぶ。

グループで聞く（グループプレイ）

まず、曲をグループにまとめます。（➡ 34 ページ）

1 つのグループだけ聞く：GROUP（グループ）
1 つのグループをくり返す：GROUP REPEAT（グループリピート）

1 PLAY MODE **停止中に押して“GROUP”または“GROUP REPEAT”を選ぶ**

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT
↑　　　　　　　　　　　↓
GROUP REPEAT ← GROUP ← RANDOM

- プログラム設定中は、“GROUP”、“GROUP REPEAT” を選べません。
- “GROUP” と “GROUP REPEAT” はグループ編集している MD でのみ表示されます。

2 ∨ GROUP ∧ **押してグループを選ぶ**

3 MD ▶/II **押す**
再生が始まります。

グループプレイ

解除する
停止中に、[PLAY MODE] を押して “OFF” を選ぶ。

グループを前後にとび越す（グループスキップ）
[|◀◀ ∨ GROUP] または [▶▶| GROUP ∧] を押して、聞きたいグループを選ぶ。

タイトルで曲を探して聞く（タイトルサーチ）

検索に使えるのは、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。（最大 13 文字まで）

1 TITLE SEARCH **停止中に押す**

TITLE SEARCH

タイトル入力画面になります。

2 **タイトルを入力する**（➡ 41 ページ）
大文字、小文字やスペースなどは区別して検索されるので正確に入力します。

例：「ナツ　ベスト」

ﾅﾂ ﾍﾞｽﾄ

正確なタイトルがわからないときは、1 文字からでも検索できます。

3 ENTER **押す**
検索が始まります。

TITLE SEARCH

該当する曲が見つかると

T 12 FIND
ﾅﾂ ﾍﾞｽﾄ

4 **さらに曲を探すとき**

押す
前または次の候補の曲を検索します。

5

押す
検索した曲から再生します。

イントロで曲を探して聞く（イントロスキャン）

各グループの先頭曲を約 10 秒間順番に再生します。

1

停止中に押す
先頭曲の再生が始まります。
MD をグループ編集していないときは “NO GROUP” と表示し、元の表示に戻ります。

GROUP SCAN

2

押す
スキャンしている位置から再生します。

タイトルサーチ

途中で解除する
[■] を押す。

お知らせ

- 検索できるのはタイトルの先頭から 31 文字目までです。
- 前回入力したタイトルは記憶されています。不要なタイトルは、[DEL PGM/CLEAR] を押して消し、新しいタイトルを入力します。
- プログラム、ランダムプレイ設定中（➡ 16、17 ページ）は “ERROR” が表示され、タイトルサーチできません。

イントロスキャン

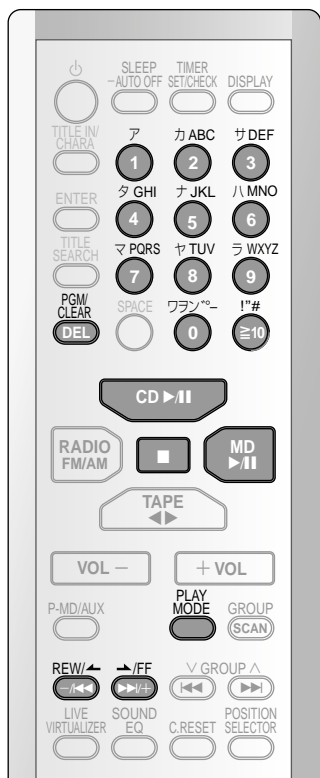
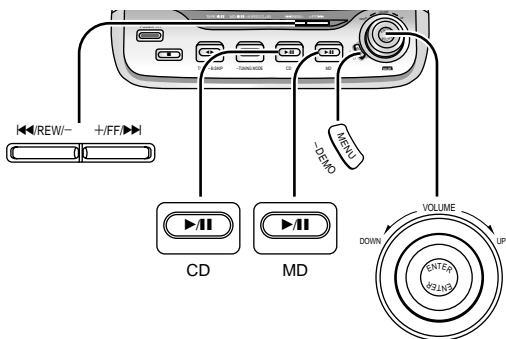
途中で解除する
[■] を押す。

前後のグループのイントロを聞く
[|◀◀ ∨ GROUP] または [▶▶| GROUP ∧] を押す。

お知らせ

プログラム、ランダムプレイ設定中（➡ 16、17 ページ）は “ERROR” が表示され、スキャンできません。

共通の準備

■ 押して“CD”または“MD”を選ぶ。

好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）

最大 24 曲まで予約できます。

1 PGM/CLEAR DEL **停止中に押す**
例：MD

2 **押して曲番を選ぶ**

この操作をくり返して、曲番を選ぶ

3 CD ▶/II または MD ▶/II **押す**
予約曲を順に再生し、自動停止します。

プログラムプレイ

途中で止める
[■] を押す。（予約内容は保持されます）

解除する
停止中に、[DEL PGM/CLEAR] を押す。
- ディスクを取り出したときも解除されます。
- CD では、停電、電源プラグを外したときも解除されます。

予約内容を確認する
停止中に、[−/⏮ REW/◀◀] または [⏭/+ ▶▶ /FF] を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

予約を追加する
“PROGRAM” と表示している停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

予約の途中で
- **“PROGRAM FULL” と表示したら**
  予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。これ以上は予約できません。
- **“−− : −−” と表示したら**
  予約時間が 250 分に達したことを示しています。ただし、続けて予約できます。

お知らせ
CD でのサーチは、再生中の曲の中のみです。

再生をくり返す（リピートプレイ）

1曲をくり返す：TRACK REPEAT
全曲をくり返す：ALL REPEAT

1 PLAY MODE **停止中に押して"TRACK REPEAT"または"ALL REPEAT"を選ぶ**

例：MD

1曲 MD 10 46:32 TRACK REPEAT

全曲 MD 10 46:32 ALL REPEAT

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT
↑ (1-↻) (↻) ↓
GROUP REPEAT ← GROUP ← RANDOM

- "GROUP"と"GROUP REPEAT"はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2 **1曲をくり返す**

押して曲番を選ぶ
再生が始まります。

曲番10/100以上を選ぶには
（➡ 左ページ手順 2）

全曲をくり返す

CD ▶/❚❚ または MD ▶/❚❚

押す
再生が始まります。

リピートプレイ

解除する
[PLAY MODE]を押して"OFF"を選ぶ。

再生中でも操作できます
再生中に、手順 1 の操作をする。
TRACK REPEATでは、聞いている曲がくり返し再生されます。

好みの数曲をくり返すには（プログラムリピート）
① プログラムプレイで再生を始める。（➡ 左ページ）
② [PLAY MODE]を押して"ALL REPEAT"を選ぶ。

本機で操作する

① [MENU －DEMO]を押す。
② マルチJOGを回して"PLAY MODE"を選び[ENTER]を押す。
③ マルチJOGを回して"TRACK REPEAT"または"ALL REPEAT"を選び［ENTER］を押す。
④ 1曲をくり返す場合のみ：[⏮/REW/–]または[+/FF/⏭]（TRACK REPEAT）を押して曲番を選ぶ。
⑤ [▶/❚❚ CD]または[▶/❚❚ MD]を押す。
再生中に行う場合は、手順④、⑤は不要です。

解除する
上記手順①～②の後、手順③で"OFF"を選び[ENTER]を押す。

順不同に聞く（ランダムプレイ）

各曲を1回ずつ順不同に再生します。

1 PLAY MODE **停止中に押して"RANDOM"を選ぶ**

例：MD

RND
MD 10 46:32 RANDOM

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT
↑ ↓
GROUP REPEAT ← GROUP ← **RANDOM**

- "GROUP"と"GROUP REPEAT"はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2 CD ▶/❚❚ または MD ▶/❚❚ **押す**
再生が始まります。

ランダムプレイ

解除する
停止中に、[PLAY MODE]を押して"OFF"を選ぶ。

お知らせ
- ランダムプレイ中は、前の曲にスキップできません。
- サーチは、再生中の曲の中のみです。
- プログラムプレイと同時にはできません。
- ランダムプレイ中は、リピートプレイはできません。

本機で操作する

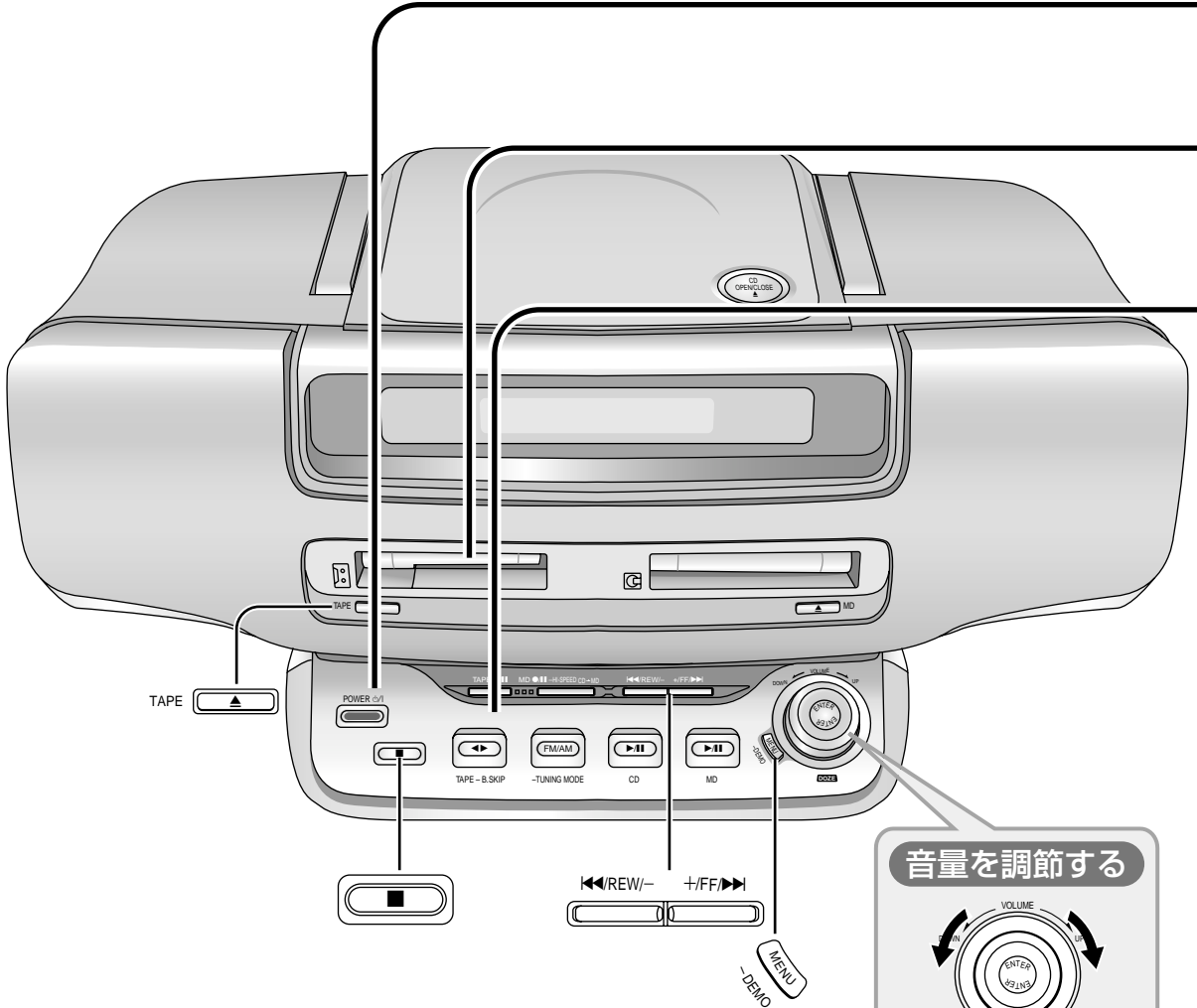
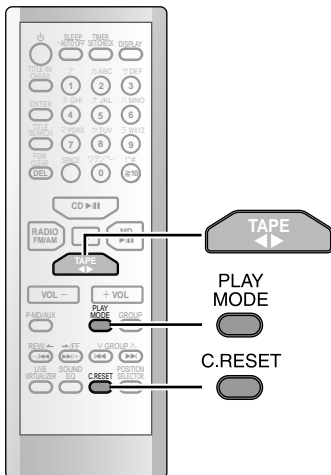
① 停止中に[MENU －DEMO]を押す。
② マルチJOGを回して"PLAY MODE"を選び[ENTER]を押す。
③マルチJOGを回して"RANDOM"を選び［ENTER］を押す。
④ [▶/❚❚ CD]または[▶/❚❚ MD]を押す。

解除する
停止中に、上記手順①～②の後、手順③で"OFF"を選び[ENTER]を押す。

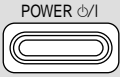
テープを聞く

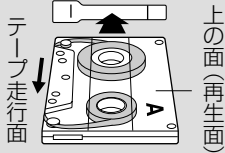
はじめてテープを使用する場合は、52ページ「テープについて」をお読みください。

再生できるテープ（テープの種類は自動的に判別されます）

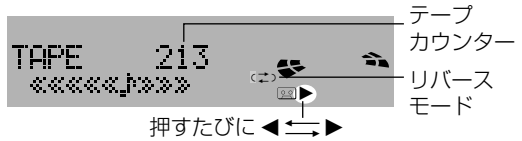
NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマル ポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイ ポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタル ポジション）	○

準備

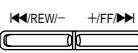
テープのたるみを取る。

1

押して
電源を入れる

2

テープを入れる
- 必ず電源を入れてからテープを挿入してください。
- テープの再生面は自動的に上の面 "▶" になります。

3

押す
再生が始まります。
▶：上の面から再生
◀：下の面から再生

途中で止める	■	押す
リバースモードを選ぶ リモコン	PLAY MODE	押す 押すたびに ⇄ (ONE WAY)：片面だけ再生して自動停止 ⇄⊃ (BOTH WAYS)：上の面 → 下の面を再生して自動停止 ⊂⇄⊃ (REPEAT)：両面をくり返し再生
早送り/巻戻しする	⏮/REW/– +/FF/⏭	停止中に 押す
テープカウンターをリセットする リモコン	C.RESET	押す
テープを取り出す	TAPE ▲	押す

曲を前後にとび越す
(Tape Program Sensor-TPS 機能)
（テープ プログラム センサー）

再生中に
押す（とび越す曲数分）

（次曲方向９曲、前曲方向８曲までとび越し可能）

曲間（無音部）をとばして聞く（ブランクスキップ）

"B.SKIP PLAY" と表示されるまで
押し続ける

または

リモコン

押し続けるたびに
B.SKIP PLAY ⟷ B.SKIP OFF（解除）

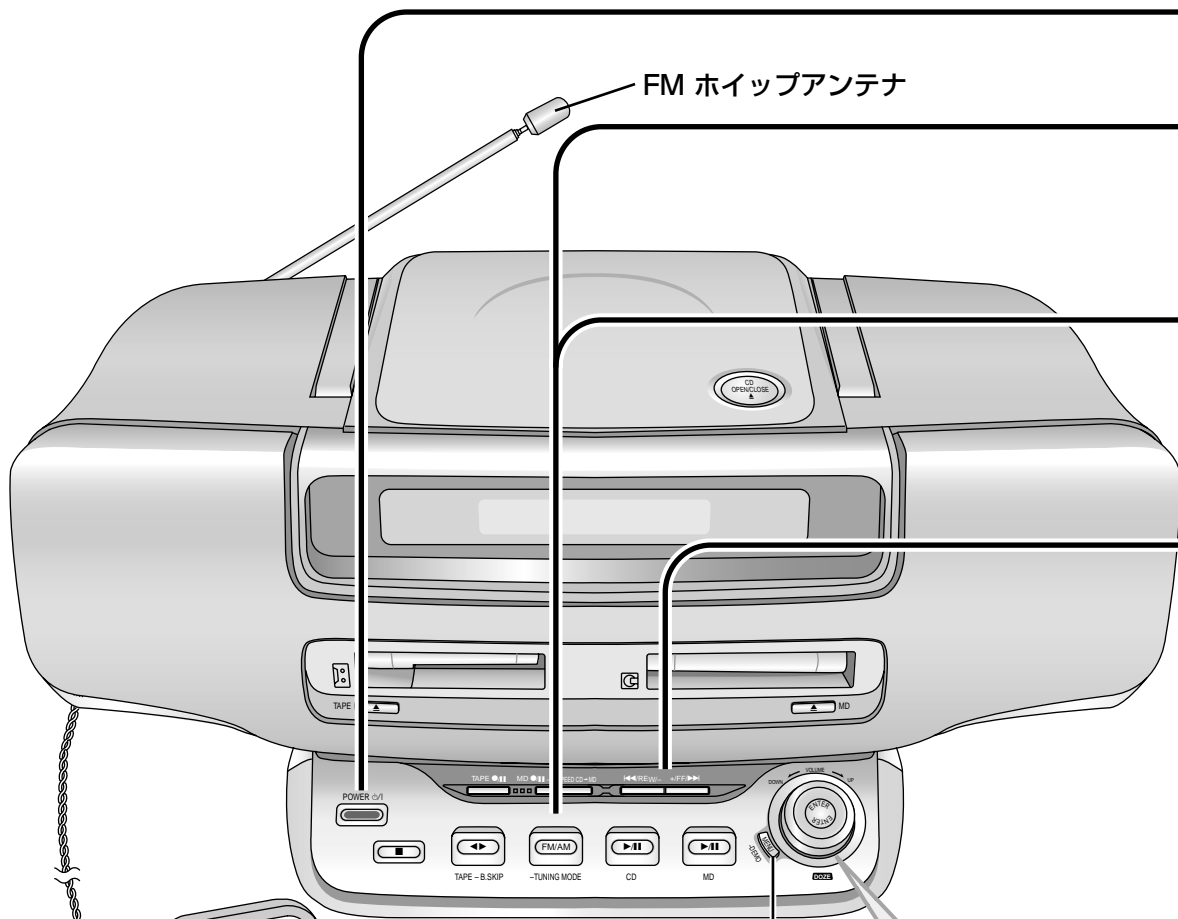
本機でリバースモードを選ぶ

① [MENU –DEMO] を押す。
② マルチ JOG を回して、"PLAY MODE" を選び、[ENTER] を押す。
③ マルチ JOG を回して、"ONE WAY"、"BOTH WAYS" または "REPEAT" を選び、[ENTER] を押す。

お知らせ

TPS 機能：
TPS 機能は、曲間の約４秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
- 曲間が短い
- 曲間に雑音がある
- 曲中に無音に近い部分がある

ブランクスキップ機能：
再生中、約８秒以上の無音状態が続くとテープを早送りにして次の曲の頭から再生します。
- 曲間に雑音があるとき、曲中に無音に近い部分があるときには、正しく動作しないことがあります。
- テープ両面のくり返し再生モードでのブランクスキップは往復８回で停止します。
- 全体が無音のブランクテープではブランクスキップしません。
- ブランクスキップ再生中に MD 録音をするとブランクスキップは解除されます。

すでにテープが入っているときには、手順 **3** から行うと、自動的に電源が入り、電源を切る前に進んでいた方向で再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

FM ホイップアンテナ
AM ループアンテナ
つないだあと、実際に放送を受信してみて、雑音の少ない位置に置きます。
POWER
TAPE – B.SKIP
–TUNING MODE
CD
MD
MENU
–DEMO
音量を調節する
VOLUME
回して
調節する
VOL 20
0
（最小）
50
（最大）
PLAY MODE

準備 AM ループアンテナを接続する。（➡ 7 ページ）
テレビ音声（1 ～ 3 チャンネルのみ）は FM で受信します。

1

押して
電源を入れる

2

押して
“FM”または “AM”を選ぶ

押すたびに FM ⇄ AM

3

押し続けて
“MANUAL MODE”を選ぶ MANUAL MODE

押し続けるたびに MANUAL MODE（マニュアル モード）：周波数で選ぶとき
↕
PRESET MODE（プリセット モード）：エリアバンクなどで記憶させたチャンネルを選ぶとき

4

押して
周波数を合わせる

テレビの受信位置は：
FM 76.0 MHz ←------→ FM 90.0 MHz
↕ ↕
TV 3ch ⟷ TV 2ch ⟷ TV 1ch

周波数

自動選局する（オートチューニング）

MANUAL MODE（マニュアル モード）時に
周波数が動き始めるまで
押し続けて、動き始めたら指を離す

AUTO TUNING

- 放送を受信すると、自動停止します。
- 好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返します。

FM ステレオ放送で雑音が多いときは

リモコン

PLAY MODE **押して 受信モードを選ぶ**

押すたびに
MONO ⇄ 消灯（AUTO STEREO）
（強制モノラル） （自動判別）

F M 88.1 MHz
MONO

- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。（FM 76.0 ～ 90.0 MHz 受信時のみ）
- 通常は “MONO” を消灯させておいてください。

FM の受信状態がよくないとき

本機を窓際などに置き、FM ホイップアンテナの長さと向きを調節します。

本機で受信モードを選ぶ

① ［MENU －DEMO］を押す。
② マルチ JOG を回して“PLAY MODE” を選び、［ENTER］を押す。
③ マルチ JOG を回して “AUTO STEREO” または “MONO” を選び、［ENTER］を押す。

AM の受信状態がよくないとき

本機を窓際などに置き、AM ループアンテナの位置と向きを調節します。

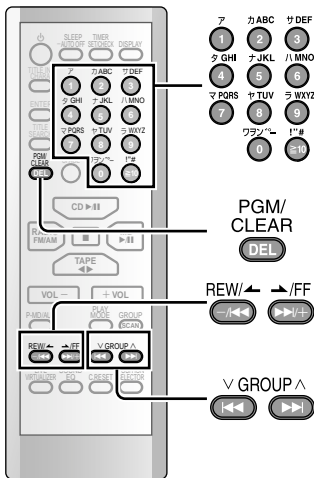
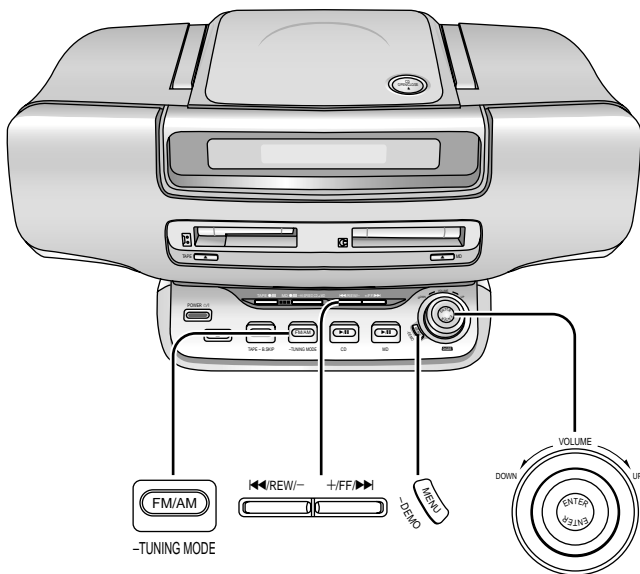
お知らせ

- AM とテレビの音声はモノラルです。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。
- AM 受信中にテープを取り出したり、テープの録音操作（録音、停止や一時停止）を行うと音がとぎれます。

放送局を記憶させて聞く

● 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
● FM、AM とも、12 局ずつ記憶させることができます。

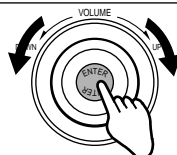
共通の準備

押して
“FM”または“AM”を選ぶ
エリアバンクでは、FM、AM どちらを選んでいてもかまいません。

記憶させる

お住まいの地域を選択する（エリアバンク）

エリア番号を選択するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

押す

2

① 回して“AREA”を選び

```
F M   76.0 MHz
AREA
```

② [ENTER] を押す

③ 回してエリア番号（➡ 下記）を選び

④ [ENTER] を押す
エリアに記憶されている最初の周波数と放送局名が表示されます。

```
F M   80.4 MHz PGM
AIR-G'
```

エリアバンク

お知らせ

エリアバンクで放送局を記憶させた後は、自動的に“PRESET MODE（プリセット モード）”（“PGM”が点灯）になります。
（➡ 21 ページ）

エリアバンク（2003 年 6 月現在）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）
2	青森	12	甲府
3	秋田	13	松本
4	盛岡	14	静岡
5	山形	15	名古屋圏（名古屋、岐阜）
6	仙台	16	津
7	福島	17	新潟
8	宇都宮	18	富山
9	水戸	19	金沢
10	前橋	20	福井

好みの放送局を記憶する（マニュアルメモリー）

リモコン

たとえば、エリアバンク選択後の空きチャンネルに、好みの放送局を記憶させることができます。

1

押して
周波数を合わせる

2

PGM/
CLEAR
DEL

押す

F M 80.2 MHz PGM
PROGRAM ch --

3

10秒以内
押して
チャンネルを選ぶ

F M 80.2 MHz PGM
PROGRAM ch 7

チャンネル10以上を選ぶには
（例：12）

≧10 → 1 → 2

続けて記憶させるときは、
手順 1 に戻る

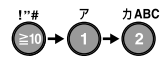
記憶させた放送局を聞く

本機で操作する

PRESET MODE（プリセット モード）
(➡ 21 ページ)時に
押して
チャンネルを選ぶ

F M 80.2 MHz PGM
ch 7

リモコンで操作する

∨ GROUP ∧

押して
チャンネルを選ぶ

または

F M 80.2 MHz PGM
ch 7

チャンネル10以上を選ぶには
（例：12）

≧10 → 1 → 2

記憶させた放送局を聞く

お知らせ

エリアバンクで記憶させたチャンネルを選ぶと放送局名が表示されます。

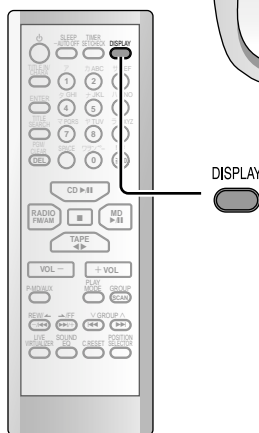
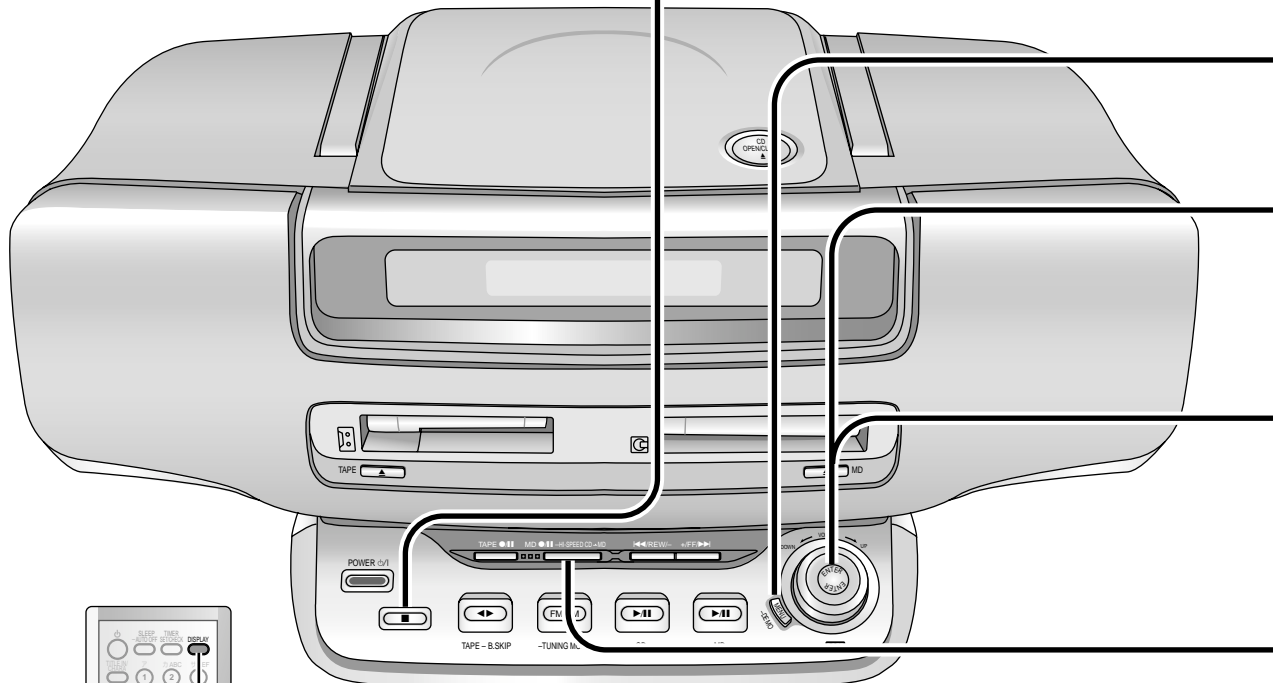
エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
21	大津	31	松山
22	奈良	32	高知
23	和歌山	33	福岡
24	大阪圏	34	北九州
	（大阪、神戸、京都）	35	佐賀
25	鳥取	36	長崎
26	松江	37	大分
27	広島	38	熊本
28	山口	39	宮崎
29	高松・岡山	40	鹿児島
30	徳島	41	那覇

CD を MD に録音する(シンクロ録音)

高速録音可能

はじめて MD を使用する場合は、51 ページ「MD について」をお読みください。

準備

- 電源を入れ、録音用 MD を入れる。(➡ 13 ページ)
- CD を入れる。(➡ 11 ページ)

MDLP (長時間ステレオ録音/再生)について

LP モードディスプレイ表示

LP2 MODE　LP2

LP MODE OFF　：標準時間録音モード(表示なし)
LP2 MODE　：2 倍長時間録音モード(LP2)
LP4 MODE　：4 倍長時間録音モード(LP4)

録音できる時間の違い

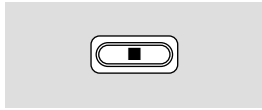
	標準	LP2	LP4
74分のMDディスク	74 分	148 分	296 分
80分のMDディスク	80 分	160 分	320 分

- 録音中は、LP モードを変更できません。
- 本機で 2 倍長時間録音 (LP2) または 4 倍長時間録音 (LP4) した曲は、MDLP に対応した機器以外では再生できません。
- MDLP に対応していない機器で再生すると、曲タイトルの先頭に “LP :” と出て、無音で再生されます。
- LP4 MODE は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視する録音を行うときは、LP MODE OFF または LP2 MODE をおすすめします。
- **カーオーディオが、MDLP に対応していないときは、標準モード(LP MODE OFF)で録音します。**

CD-R/RW から録音するとき(アナログ録音について)

- **“SCMS CAN NOT COPY” と表示されたら**
  アナログ録音してください。
  ただし、**高速録音**(➡ 30 ページ) はできません。

① [■] を押して “CD” を選ぶ。
② [MENU −DEMO] を押す。
③マルチ JOG を回して “ANALOG-REC” を選び、[ENTER] を押す。
④マルチ JOG を回して “ANALOG REC?” を選び、[ENTER] を押す。
⑤ [MD ●/II −HI-SPEED CD ➡ MD] を押す。
　録音が始まります。
　録音が終わると、アナログ録音モードは、自動的にデジタル録音モードに戻ります。

1

押して
“CD”を選ぶ

CD 14 68:25

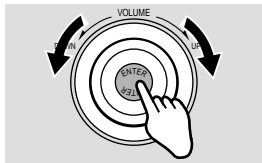
MDの録音時間(LPモード)を変更する

LPモードについて詳しくは左ページ(MDLPについて)を参照ください

2

押す

もう1度押すと元の表示に戻ります。

3

① 回して
“LP MODE”を選び
② [ENTER]を押す

CD 14 68:25
LP MODE

4

① 回して
LPモードを選び

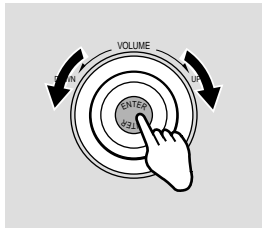
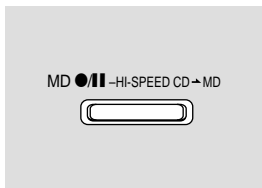
LP2 MODE

LP2

②[ENTER]を押す

回すたびに → LP MODE OFF → LP2 MODE ↔ LP4 MODE → LP MODE OFF

5

MD ●/II –HI-SPEED CD→MD

押して
録音を始める

高速録音するときは、“HIGH-SPEED”と表示するまで押し続ける

NORMAL-SPEED
CD→MD REC

CDの再生が終わると、MDも自動停止します。

途中で止める	■ **押す** “UTOC Writing”の点滅後に録音が停止します。 UTOC Writing
残り時間などの情報を見る リモコン	DISPLAY **押す** 押すたびに、表示部の表示が切り換わります。 MD Rem 53:01
一時停止する	MD ●/II –HI-SPEED CD→MD **押す** ● 再開するには、もう一度押す。 ● 録音された音がとぎれます。 ● トラックマークが付きます。

気に入った曲をすぐ録音する(追っかけ録音)

CD再生中に[MD ●/II –HI-SPEED CD→MD]を押す。
曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで録音すると、MDは自動停止します。
曲の途中から録音したい場合は、CDを一時停止してから[MD ●/II –HI-SPEED CD→MD]を押す。
1曲だけ録音するには**「CDの1曲をねらい録りする」**(➡ 31ページ)で“1-REC?”を選んで[ENTER]を押した後、好みの曲の再生中に[MD ●/II –HI-SPEED CD→MD]を押す。

お願い

● **CDを入れてCDふたを閉めた直後や、録音中、一時停止中に、CDふたを開けないでください。CDがターンテーブルから外れて、CDに傷がつく恐れがあります。**
● CDふたを開けるときは、ハンドルを倒した状態で開けてください。

お知らせ

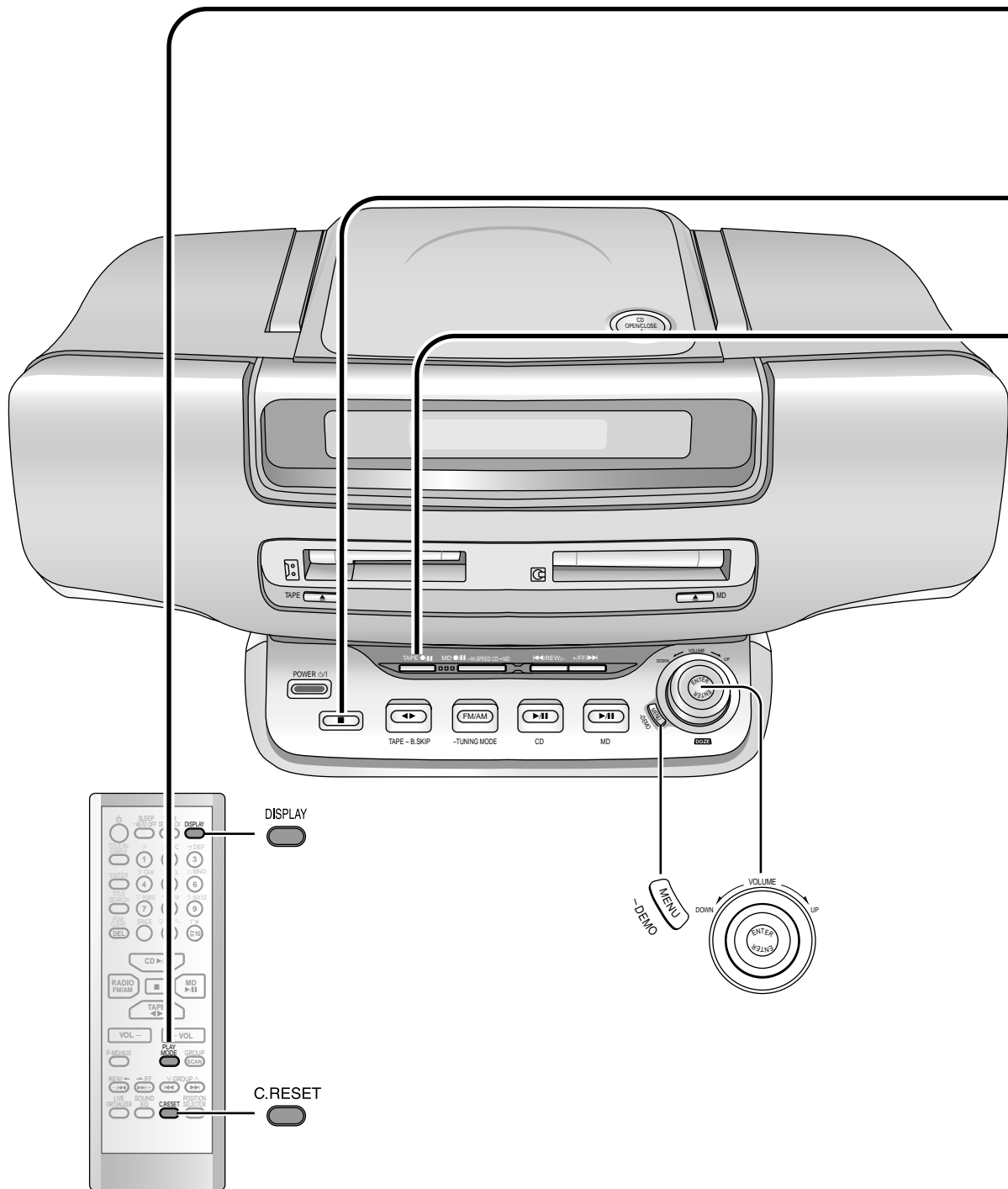
● 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。
● 本機で長時間モノラル録音はできません。

CDをテープに録音する

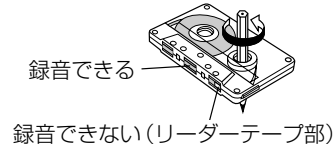
はじめてテープを使用する場合は、52ページ「テープについて」をお読みください。

録音できるテープ

ノーマル ポジション NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
ハイ ポジション HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	×
メタル ポジション METAL POSITION/TYPE Ⅳ	×

ハイポジションテープ、メタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

準備

- 電源を入れ、録音用テープを入れる。(➡ 19 ページ)
- CD を入れる。(➡ 11 ページ)

1 リモコン PLAY MODE

テープモード時に (他のモード時は [■] を押して "TAPE" を選ぶ)

押して
リバースモードを選ぶ

押すたびに：⇄ (ONE WAY) → ⇄ (BOTH WAYS) → (⇄) (REPEAT)

⇄：片面だけ録音して自動停止
⇄、(⇄)：上の面→下の面を録音して自動停止

2

押して
"CD"を選ぶ

CD 14 68:25

3 TAPE ●/II

押して
録音を始める

手順 **1** で (⇄) を選んでいても、⇄に変わります。

CD→TAPE REC

CD の再生が終わるとテープも自動停止します。

途中で止める	■ **押す**
一時停止する	TAPE ●/II **押す** ● 再開するには、もう一度押す。 ● 録音された音がとぎれます。

テープカウンターを表示させる リモコン	DISPLAY **押す** TAPE 213
テープカウンターをリセットする リモコン	テープカウンターを表示させた状態で C.RESET **押す** TAPE 000

本機でリバースモードを選ぶ（テープモード時）
① [MENU –DEMO] を押す。
② マルチ JOG を回して、"PLAY MODE" を選び、[ENTER] を押す。
③ マルチ JOG を回して、"ONE WAY"、"BOTH WAYS" または "REPEAT" を選び、[ENTER] を押す。

気に入った曲をすぐ録音する（追っかけ録音）
CD 再生中に [TAPE ●/II] を押す。
曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで録音すると、テープは自動停止します。
曲の途中から録音したい場合は、CD を一時停止してから [TAPE ●/II] を押す。
1 曲だけ録音するには**「CD の 1 曲をねらい録りする」**(➡ 31 ページ) で "1-REC?" を選んで [ENTER] を押した後、好みの曲を再生中に [TAPE ●/II] を押す。

お願い
- **CD を入れて CD ふたを閉めた直後や、録音中、一時停止中に、CD ふたを開けないでください。CD がターンテーブルから外れて、CD に傷がつく恐れがあります。**
- CD ふたを開けるときは、ハンドルを倒した状態で開けてください。
- **一時停止中は、テープを取り出さないでください。**

お知らせ
- 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。

ラジオを録音する

共通の準備

- **電源を入れてから録音用 MD、またはテープを 本体に入れる。**
- **必要に応じて MD の録音時間 (LP モード) を選ぶ。**(➡ 25 ページ)
- **必要に応じて テープのリバースモードを選ぶ。**(➡ 27 ページ)

録音モードについて(MD に録音時)

MANUAL(マニュアル):通常の録音モードです。トラックマークは自動で付きません。

TURN BACK(ターンバック):頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。

TIME MARK(タイムマーク):5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

TURN/TIME(ターンタイム):数秒前の音から録音し、5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

AUTO MARK(オートマーク):テープの曲間を検知してトラックマークを記録します。

お願い

AM 放送を録音するときは AM ループアンテナと本機をできる限り離してください。近づけるとノイズが入ることがあります。

ラジオを MD に録音する

途中で止める
[■] を押す。

一時停止する
[MD ●/II ー HI-SPEED CD ⇀ MD] を押す。
トラックマークがひとつ付きます。
(再開するには、もう一度押す)

お知らせ

- エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局が曲の名前(トラックタイトル)として記録されます。
- AM 放送を MD に録音または録音待機中は、テープを取り出せません。
- 本機で長時間モノラル録音はできません。

ラジオをテープに録音する

途中で止める
[■] を押す。

一時停止する
[TAPE ●/II] を押す。
(再開するには、もう一度押す)

ラジオを MD に録音する

1 **ラジオ(またはテレビ)放送を受信する**(➡ 21 ページ)

2

押す

3

① **回して"REC MODE"を選び**

REC MODE

② **[ENTER] を押す**

③ **回して録音モードを選び**
(➡ 左記「録音モードについて」)

MANUAL?

MANUAL? ⟷ TURN BACK?
↕ ↕
TURN/TIME? ⟷ TIME MARK?

④ **[ENTER] を押す**

MANUAL、TIME MARK

4 MD ●/II –HI-SPEED CD ⇀ MD **押す**
録音が始まります。

TURN BACK、TURN/TIME

4 MD ●/II –HI-SPEED CD ⇀ MD
① **押す**
録音待機状態になります。
② **押す**
録音が始まります。

ラジオをテープに録音する

1 **ラジオ(またはテレビ)放送を受信する**
(➡ 21 ページ)

2 TAPE ●/II **押す**
録音が始まります。

F M 80.2 MHz
FM→TAPE REC

テープまたは MD を録音する

テープを MD に録音する

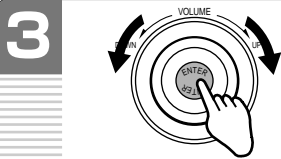
1 テープを入れて

押して“TAPE ”を選ぶ

----- TAPE ----

2

押す

3

① **回して“REC MODE”を選び**

REC MODE

② **[ENTER] を押す**

③ **回して録音モードを選び**
(➡ 左ページ「録音モードについて」)

MANUAL?

MANUAL? ⟷ AUTO MARK?
└→ TIME MARK? ←┘

④ **[ENTER] を押す**

4 MD ●/❚❚ –HI-SPEED CD ⟶ MD **押す**
録音が始まります。

MD をテープに録音する

1 MD を入れて

押して“MD”を選ぶ

----- M D -----

2 TAPE ●/❚❚ **押す**
録音が始まります。

MD 1
MD→TAPE REC

テープを MD に録音する

途中で止める
[■] を押す。

一時停止する
- [MD ●/❚❚ ─ HI-SPEED CD ⟶ MD] を押す。
  トラックマークがひとつ付きます。
  (再開するには、もう一度押す)
- AUTO MARK モードでは一時停止できません。

お知らせ
- AUTO MARK モードの場合、テープの内容によってはトラックマークが正しく付かないことがあります。
- マイクを接続していると、トラックマークが正しく付かないことがあります。
- AUTO MARK モードでテープをリーダーテープ部から録音すると、約 2 秒の不要な曲が MD に記録される場合があります。**「トラックイレース」**(➡ 37 ページ) で消してください。

MD をテープに録音する

途中で止める
[■] を押す。

一時停止する
[TAPE ●/❚❚] を押す。
(再開するには、もう一度押す)

気に入った曲をすぐ録音する(追っかけ録音)
MD 再生中に [TAPE ●/❚❚] を押す。
曲の初めに戻って録音し、最後の曲まで録音すると、テープは自動停止します。
曲の途中から録音したい場合は、MD を一時停止してから [TAPE ●/❚❚] を押す。
1 曲だけ録音するには**「MD の 1 曲をねらい録りする」**(➡ 31 ページ) で “1-REC?” を選んで[ENTER]を押した後、好みの曲を再生中に [TAPE ●/❚❚] を押す。

高速録音する

共通の準備

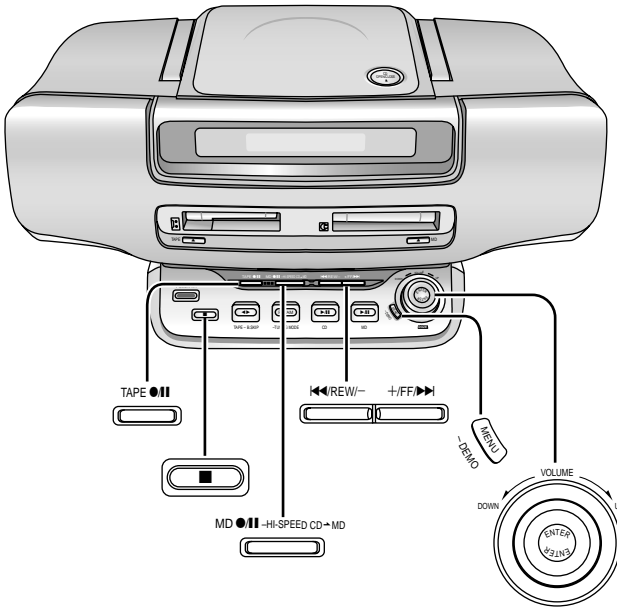
- **電源を入れてから録音用 MD、またはテープを 本体に入れる。**
- **必要に応じて MD の録音時間(LP モード)を選ぶ。**(➡ 25 ページ)
- **必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。**(➡ 27 ページ)

CD から MD に高速録音する

CD → MD (高速録音可能)

- CD から MD に最大 6 倍速で録音できます。74 分のディスクなら、約 15 分で録音が完了します。
  ディスクや条件によって、高速録音できないときがあります。高速録音できないときは、通常の速度で録音してください。
- 高速録音は、下の表のように、他の録音と組み合わせて使えます。

高速録音できる録音の種類

シンクロ録音 (➡ 24 ページ)	○
1 曲をねらい録り (➡ 31 ページ)	○
丸録り (➡ 32 ページ)	○
プログラム録音 (➡ 33 ページ)	×

1 CD を入れて

2 MD ●/II −HI-SPEED CD➡MD

"HIGH-SPEED"と表示するまで押し続ける

録音が始まり、全曲の録音が終了すると停止します。確認音(ビープトーン)が約 10 秒鳴ります。

- 確認音は [ENTER] などを押して止めます。

残量表示
(録音終了時にすべて●で表示されます)

高速録音の制限について

本機の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、次のような制限があります。

- 高速録音終了後、約 74 分間は、同じ CD から高速録音できません。
- 高速録音を途中で止めた後、約 74 分以内に、それぞれ異なる 24 枚の CD を高速録音できますが、25 枚目の高速録音はできません。
- メモリーをリセット(初期化)(➡ 57 ページ) しても、約 74 分間は、高速録音できません。

"PLEASE WAIT ○○ min." と表示したら
○○分待ってからもう一度高速録音するか、シンクロ録音 (➡ 24 ページ) してください。

"HIGH ─SPEED CAN NOT REC" と表示したら
プログラム、リピート、ランダムなどの設定中は高速録音できません。解除してください。

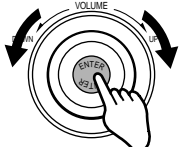
高速録音する

途中で止める
[■] を押す。

確認音の切/入を切り換える
① [MENU −DEMO] を押す。
② マルチ JOG を回して "BEEP MODE" を選び、[ENTER] を押す。
③ マルチ JOG を回して "BEEP ON" または "BEEP OFF" を選び、[ENTER] を押す。
BEEP ON (入) ⇄ BEEP OFF (切)

お知らせ

- 高速録音中は一時停止できません。
- 高速録音中の音はモニターできません。
  音量を調節すると "MUTING" と表示されます。
- ラジオ、P-MD/AUX 端子に接続した別売り機器など、本機の CD 以外からの高速録音はできません。
- 録音終了時の確認音の音量は調節できません。
- CD によっては、録音時間に誤差が生じる場合があります。

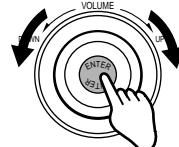
1 曲をねらい録りする（1-REC）

CD の 1 曲をねらい録りする

CD → MD （高速録音可能）
CD →テープ

1 CD を入れて
押して“CD”を選ぶ
2
押す

3
① **回して“REC MODE”を選び**
REC MODE
② **[ENTER] を押す**
③ **回して“1-REC?”を選び**
1-REC?
④ **[ENTER] を押す**

4
押して曲を選ぶ

5
MD に録音
MD ●/II –HI-SPEED CD→MD **押す**
高速録音のときは“HIGH-SPEED”が表示されるまで押し続ける。

テープに録音
TAPE ●/II **押す**

録音が始まり、終了すると停止します。

MD の 1 曲をねらい録りする

MD →テープ

1 MD を入れて
押して“MD”を選ぶ
2
押す

3
① **回して“REC MODE”を選び**
REC MODE
② **[ENTER] を押す**
③ **回して“1-REC?”を選び**
1-REC?
④ **[ENTER] を押す**

4
|◀◀/REW/– +/FF/▶▶|
押して曲を選ぶ

5
TAPE ●/II
押す
録音が始まり、終了すると停止します。

---

1 曲をねらい録りする

途中で止める
[■] を押す。

“1-REC” は自動的に解除されません
録音が終了しても、“1-REC”は自動的に解除されません。解除するには下記を行います。
① [MENU –DEMO] を押す。
② マルチ JOG を回して、“REC MODE” を選び、[ENTER] を押す。
③ マルチ JOG を回して、“MANUAL REC?” を選び、[ENTER] を押す。

丸録りする(AUTO REC)

共通の準備

- **電源を入れてから録音用 MD、またはテープを 本体に入れる。**
- **必要に応じて MD の録音時間(LP モード)を選ぶ。**(➡ 25 ページ)
- **必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。**(➡ 27 ページ)

CD の全曲を丸録りする

CD の全曲を MD またはテープに自動で録音します。
- 録音前に全曲入るかを確認できます。
- MD に録音された全曲はひとつのグループになります。

CD → MD (高速録音可能)

CD →テープ

1 CD を入れて

[■] **押して"CD"を選ぶ**

2 **押す**

3

① **回して"REC MODE"を選び**

REC MODE

② **[ENTER] を押す**

③ **回して"AUTO REC?"を選び**

AUTO REC?

④ **[ENTER] を押す**

MD:ゼンキョクRECカ
TAPE:C- 52

- MD に全曲入らないときは、録音できない曲番と録音できる曲数が表示されます。録音できない曲番を再確認するには、リモコンの [DISPLAY] を押してください。
- テープは表示された時間(分)より長いものを入れる。

4

MD に録音	**テープに録音**
MD ●/II –HI-SPEED CD→MD **押す**	TAPE ●/II **押す**
高速録音のときは"HIGH-SPEED"が表示されるまで押し続ける。	テープは自動的に巻き戻されます。

録音が始まり、終了すると停止します。
("AUTO REC" は解除されます)

共通の項目

途中で止める

[■] を押す。("AUTO REC" は解除されます)

- "C ーーーー" と表示されたら録音に必要なテープの長さが 120 分以上であることを表しています。
- テープは自動的に巻き戻され、約 10 秒間、無音録音した後、1 曲目から録音します。録音済みテープは上書きされます。
- テープのおもて面の最後で曲がとぎれた場合は、うら面にその曲を初めから録音します。
- テープ反転直前にリーダーテープより短い曲があれば、その曲は録音されません。

CD の全曲を丸録りする

お知らせ

- 丸録り中は、録音を一時停止できません。
- 丸録りしても、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。
- CD によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
- MD に全曲入らない場合、録音できない曲番と録音曲数が表示されているときに、MD の録音時間 (LP モード) を変更する (➡ 25 ページ) ことで丸録りできる場合があります。

好みの数曲を予約して録音する

MD の全曲を丸録りする

MD の全曲をテープに自動で録音します。
録音前に全曲入るかを確認できます。

MD → テープ

1 MD を入れて

押して“MD”を選ぶ

2

押す

3

① **回して“REC MODE”を選び**

REC MODE

② **[ENTER] を押す**

③ **回して“AUTO REC?”を選び**

AUTO REC?

④ **[ENTER] を押す**

TAPE:C– 52

テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。

4

押す

- テープは自動的に巻き戻されます。
- 録音が始まり、終了すると停止します。（“AUTO REC” は解除されます）

好みの数曲を丸録りする（プログラム録音）

CD → MD **CD → テープ** **MD → テープ**

1

CD から録音	MD から録音
CD を入れて **押して “CD” を選ぶ**	MD を入れて **押して “MD” を選ぶ**

2 **録音したい曲をプログラム予約する**
（➡ 16 ページ）

3

押す

4

① **回して “REC MODE”を選び**

REC MODE

② **[ENTER] を押す**

③ **回して “AUTO REC?” を選び**

AUTO REC?

④ **[ENTER] を押す**

MD:ｾﾞﾝｷｮｸRECｶ
TAPE:C– 52

- MD に全曲入らないときは、録音できない曲番と録音できる曲数が表示されます。録音できない曲番を再確認するには、リモコンの [DISPLAY] を押します。
- テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。

5

MD に録音	**テープに録音**
MD ●/II –HI-SPEED CD→MD **押す**	TAPE ●/II **押す** テープは自動的に巻き戻されます。

録音が始まり、終了すると停止します。（“AUTO REC” は解除されます）

MD の全曲を丸録りする

お知らせ

丸録り中は、録音を一時停止できません。

好みの数曲を丸録りする

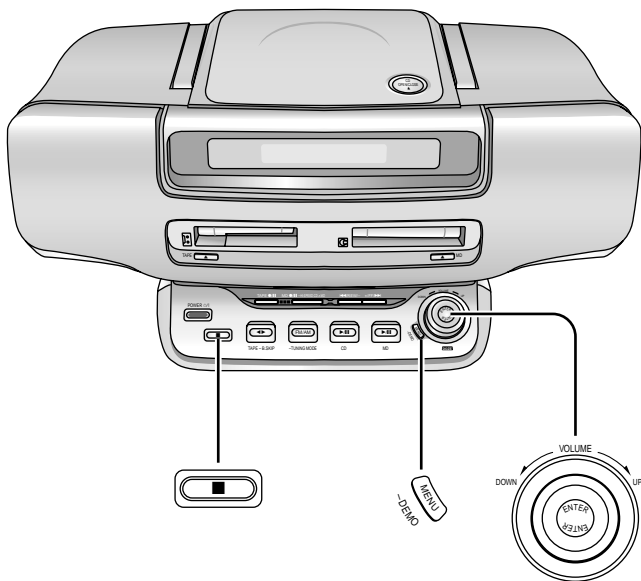
お知らせ

プログラム録音は、曲と曲の空きが少し多くなります。このため、MD では “ゼンキョク REC カノウ” とテープでは “C –○○” と表示されても MD や○○分のテープに全曲録音できないことがあります。

MD を編集する

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作れます。（録音用 MD のみ）

共通の準備

① 編集する MD を入れる。
② [■] を押して“MD”を選ぶ。

共通の項目

途中で解除する
[■] を押す。

以下の場合は MD の編集はできません。解除してください。
- MD が誤消去防止になっている場合
- MD をプログラム、ランダム、グループプレイに設定している場合

曲をグループにまとめる

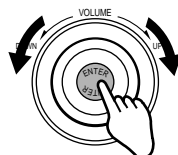
お知らせ
- グループにできるのは、連続した曲（例： 3 曲目～ 9 曲目）のみです。
- 1 曲だけでもグループにできます。
- 1 曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
- グループ編集を行った MD で編集作業を行うと、編集内容に応じて、グループ情報も自動的に更新されます。

曲をグループにまとめる

MD に録音した曲を、ひとつのグループにして管理できます。（最大 99 グループまで）

1

停止中に押す

2

① 回して“EDIT MODE”を選び

EDIT MODE

② [ENTER] を押す

③ 回して“GROUP?”を選び

GROUP?

④ [ENTER] を押す

⑤ 回して“GROUP SET?”を選び

GROUP SET?

⑥ [ENTER] を押す

⑦ 回してトラック番号を選び

3?∿----

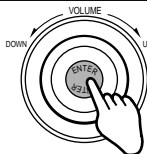
⑧ [ENTER] を押す

⑨ 回してトラック番号を選び

3 ∿ 9?

⑩ [ENTER] を押す

3 **グループにタイトルを付ける**
(➡ 41 ページ)

4

押す
“UTOC Writing” の点滅後、グループ編集が完了します。

グループを解除する

- **ひとつのグループを解除する**
  ① 手順 **2**-⑤ で“1-RELEASE?” を選び、[ENTER] を押す。
  ② マルチ JOG を回して解除したいグループを選び、[ENTER] を押す。
  ③ [ENTER] を押す。（“UTOC Writing” と表示）

- **全グループを解除する**
  ① 手順 **2**-⑤ で “ALL RELEASE?” を選び、[ENTER] を押す。
  ② [ENTER] を押す。（“UTOC Writing” と表示）

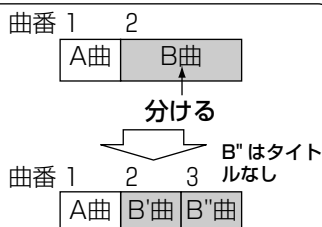
1曲を2つに分ける(ディバイド)

こんな MD になります

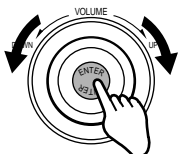
曲番 1 2
| A曲 | B曲 |

分ける

曲番 1 2 3
| A曲 | B'曲 | B"曲 |

B" はタイトルなし

1

2つに分ける曲を再生中に押す
もう一度押すと、元の表示に戻ります。

2

① 回して"EDIT MODE"を選び

EDIT MODE

② [ENTER] を押す

③ 回して"DIVIDE?"を選び

DIVIDE?

④ 分ける、おおよその位置で [ENTER] を押す

POS +000?

分けた位置から、約4秒間くり返し再生します。

⑤ 回して正確に位置を調節し

POS +002?

調節範囲 LP MODE OFF：前後約8秒間
LP2：前後約16秒間
LP4：前後約32秒間
数値は−128から+127の範囲で表示されます。

⑥ [ENTER] を押す
"UTOC Writing" の点滅後、編集が完了します。
(トラックマークが1つ増えます)

2曲をつなぐ(コンバイン)

こんな MD になります

曲番 1 2 3
| A曲 | B曲 | C曲 |

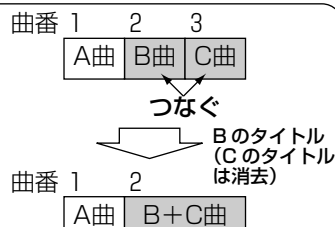
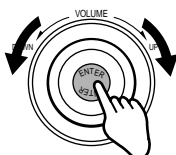
つなぐ

曲番 1 2
| A曲 | B+C曲 |

Bのタイトル(Cのタイトルは消去)

1

停止中に押す

2

① 回して"EDIT MODE"を選び

EDIT MODE

② [ENTER] を押す

③ 回して"COMBINE?"を選び

COMBINE?

④ [ENTER] を押す

⑤ 回して1つにつなぐ曲の組み合わせを選び(隣り合う2曲のみ選択可)

2+ 3?

⑥ [ENTER] を押す

2+ 3 ?
⇕
PUSH ENTER

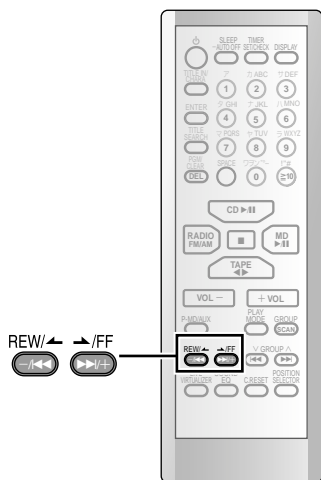
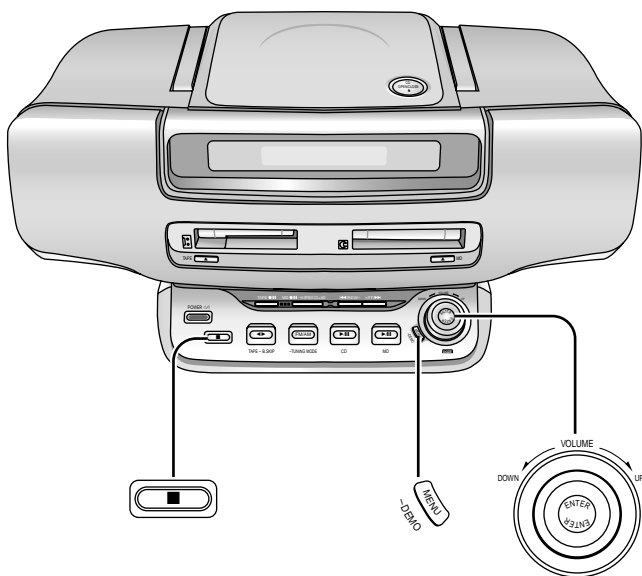
⑦ [ENTER] を押す
"UTOC Writing" の点滅後、編集が完了します。
(トラックマークが1つ減ります)

コンバイン

再生中(または一時停止中)に2曲をつなぐ
① つなぎたい曲の後ろの曲を再生中に [MENU−DEMO] を押す。
② 手順 **2** から順に操作する。
曲を選ぶ手順は、自動的にスキップされます。

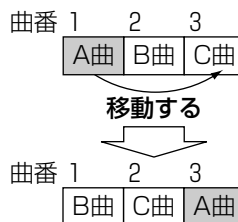
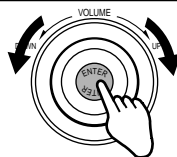
異なるモード(LP MODE OFF/LP2/LP4/長時間モノラル)で録音された曲は、1つにまとめられません。

共通の準備

①編集する MD を入れる。
② [■] を押して“MD”を選ぶ。

曲を移動する（ムーブ）

こんな MD になります

1 停止中に押す

2

① 回して“EDIT MODE”を選び

EDIT MODE

② [ENTER] を押す

③ 回して“MOVE?”を選び

MOVE?

④ [ENTER] を押す

⑤ 回して移動する曲を選び

1?→

⑥ [ENTER] を押す

⑦ 回して移動先を選び

1 → 3?

⑧ [ENTER] を押す

1 → 3 ?

⇕

PUSH ENTER

⑨ [ENTER] を押す
“UTOC Writing” の点滅後、編集が完了します。

共通の項目

途中で解除する
[■] を押す。

以下の場合は、MD の編集ができません。解除してください。
- MD が誤消去防止になっている場合
- MD をプログラム、ランダム、グループプレイに設定している場合

ムーブ

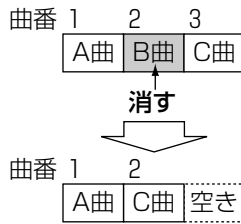
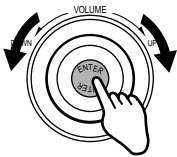
再生中（または一時停止中）に移動する
① 移動したい曲を再生（または一時停止）中に [MENU −DEMO] を押す。
② 手順 **2** から順に操作する。
曲を選ぶ手順は、自動的にスキップされます。

1曲ずつ消す（トラックイレース）

こんなMDになります

1

停止中に押す

2

① 回して“EDIT MODE”を選び

EDIT MODE

② [ENTER] を押す

③ 回して“TRACK ERASE?”を選び

TRACK ERASE?

④ [ENTER] を押す

⑤ 回して曲番を選び

ERASE 2?

⑥ [ENTER] を押す

ERASE 2 ?

PUSH ENTER

続けて曲を消すときは、手順⑤、⑥をくり返す（最大24曲まで）

消す前に曲番を確かめる
リモコンの［−/⏮ REW/◀］または［⏭/＋▶ /FF］を押す。（“ERASE CHECK”モード）

⑦ [ENTER] を押す
“UTOC Writing”の点滅後、編集が完了します。

トラックイレース

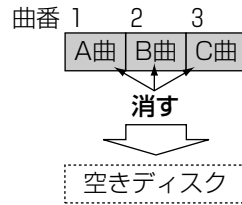
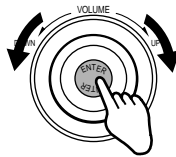
再生中（または一時停止中）の1曲だけ消す
① 消したい曲を再生（または一時停止）中に［MENU −DEMO］を押す。
② 手順 **2** から順に操作する。
曲を選ぶ手順は、自動的にスキップされます。

全曲を消す（オールイレース）

こんなMDになります

1

停止中に押す

2

① 回して“EDIT MODE”を選び

EDIT MODE

② [ENTER] を押す

③ 回して“ALL ERASE?”を選び

ALL ERASE?

④ [ENTER] を押す

ALL ERASE ?

PUSH ENTER

⑤ [ENTER] を押す
“UTOC Writing”→“BLANK DISC”表示になり、編集が完了します。

使いこなす

● 全曲を消す（オールイレース）
● 1曲ずつ消す（トラックイレース）
● 曲を移動する（ムーブ）

MDにタイトルを付ける

CDを録音中にまとめてタイトルを付ける

録音用MDには、MD(ディスクタイトル)の名前やグループ名(タイトル)、曲の名前(トラックタイトル)をそれぞれ約100文字まで記録できます。(LP2/LP4では97文字)

シンクロ録音中はトラックタイトルを、丸録り中はグループタイトルとトラックタイトルを付けられます。

1 TITLE IN/CHARA **録音中に押す**

シンクロ録音中：
トラックタイトル入力画面になります。
手順 **4** に進みます。

丸録り中：
グループタイトル入力画面になります。

例：
丸録り中

```
SERIES TITLE
TITLE INPUT
```
▼
```
SERIES TITLE
GP  1   TITLE
```
▼

カーソル

2 **グループタイトルを入力する**
(➡ 41ページ)

3 ENTER **押す**
トラックタイトル入力画面になります。

4 **トラックタイトルを入力する**
(➡ 41ページ)

5 ENTER **押す**
次の曲のトラックタイトル入力画面になります。

必要に応じて、タイトル入力をくり返す
(入力しない曲は、[ENTER]でとばせます)

6 ENTER **押す**
“TITLE WRITE”と表示した後、通常の表示に戻ります。

共通の項目

途中で解除する
[■]を押す。
ただし、[ENTER]を押して確定したタイトルは残ります。[TITLE IN/CHARA]を押すと、もう1度最初からタイトルを入力/修正できます。

CDを録音中にまとめてタイトルを付ける

タイトルを追加、訂正する
- 録音中は、[TITLE IN/CHARA]を押すと、もう1度最初からタイトルを入力/修正できます。
- 録音終了後は、**「グループ/トラックタイトルを付ける」**(➡ 右ページ)をします。

タイトル入力中のグループまたはトラック番号を確認する
[DISPLAY]を押す。

お知らせ
- タイトルは、1曲目から順に記録されます。前の曲には戻れません。
- CDのランダム、リピート設定中は、録音中のトラックのみタイトルを付けられます。
- 録音中に一時停止すると、まとめてタイトル入力できません。
- タイトル入力中/入力後は、一時停止できません。

録音したMDにタイトルを付ける

準備

① タイトルを付けるMDを入れる。
② [■] を押して "MD" を選ぶ。

ディスクタイトルを付ける

1 TITLE IN/CHARA

停止中に押して "DISC?" を選ぶ

DISC?　TITLE

押すたびに
DISC? → GROUP? → TRACK?
↑―― 元の表示 ――

"GROUP?" はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2 ENTER

押す
タイトル入力画面になります。

カーソル

3 **文字を入力する** (➡ 41 ページ)

4 ENTER

押す
"UTOC Writing" 点滅後、タイトル入力が完了します。

グループ/トラックタイトルを付ける

1 TITLE IN/CHARA

停止中に押して "GROUP?" または "TRACK?" を選ぶ
例：トラック

TRACK?　TITLE

押すたびに
DISC? → GROUP? → TRACK?
↑―― 元の表示 ――

"GROUP?" はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

2 ENTER

押す

3 REW/◀◀ −/⏮ または ▶▶/FF ⏭/+

押して グループまたは曲番を選ぶ
例：曲番

TR　3?　TITLE

4 ENTER

押す
タイトル入力画面になります。

カーソル

5 **文字を入力する** (➡ 41 ページ)

6 ENTER

押す
"UTOC Writing" 点滅後、次のグループまたはトラックタイトルの入力画面になります。

必要に応じて、タイトル入力をくり返す

7

押す
タイトル入力が完了します。

録音したMDにタイトルを付ける

入力後にタイトルを確認する
[DISPLAY] を数回押す。
表示される内容は、現在行っている操作やソースなどによって異なります。

お知らせ

プログラム、ランダム、1曲リピート、グループプレイ設定中は、タイトル入力できません。解除してください。

録音したMDの再生中にタイトルを付けることもできます (再生中の曲のみ)
① 再生中に [TITLE IN/CHARA] を押す。
② 文字を入力し (➡ 41 ページ)、[ENTER] を押す。
"TITLE WRITE" と表示された後、通常の表示に戻ります。

再生中にタイトルを付けると、つづきの再生中にMDの編集はできません。MDを止めてから編集してください。

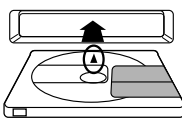
他の MD にタイトルをコピーする（タイトルステーション）

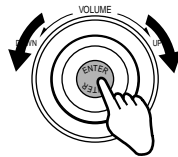
MD のディスク/トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。

タイトルをコピーする前に

- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- 再生専用 MD や未録音の MD は使えません。
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

1 [■] 押して“MD”を選ぶ

2 タイトルの付いた MD（コピー元）を入れる

3 [MENU –DEMO] 押す

4

① 回して“EDIT MODE”を選び

EDIT MODE

② [ENTER] を押す

③ 回して“TITLE ST.?”を選び、[ENTER] を押す

TITLE ST. ?
⇕
PUSH ENTER

④ [ENTER] を押す

TITLE MEMORY
▼
COMPLETE
▼
EJECT MD

5 [▲ MD] 押して MD を取り出し、タイトルを付けるMD（コピー先）を入れる

Writing OK?
⇕
PUSH ENTER

6 [ENTER] 押す

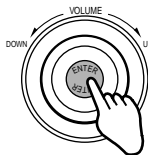
“UTOC Writing” の点滅後、タイトルコピーが完了します。

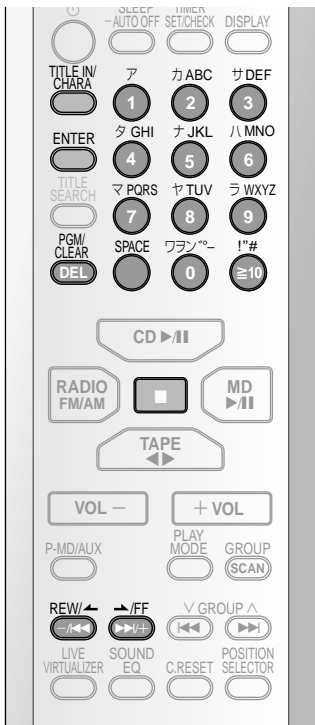
タイトルステーション

途中で解除する

[■] を押す。

お知らせ

- 本機が記憶できるタイトルは、MD1 枚分です。
- 本機に記憶されたタイトルは、一度コピーすると消えます。
- 電源を切ると本機のタイトルは失われます。
- LP2/LP4 で録音した曲をコピー元MDとして使った場合、コピー先の曲が標準（LP MODE OFF）で録音されていても、トラックタイトルの頭に “LP:” と表示されます。
- コピー元 MD がグループ管理されているときは、コピー先 MD にグループ管理情報もコピーされます。

文字入力のしかた

タイトル入力画面にした後、入力します。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

各ボタンを押すたびに、1 文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ	アルファベット		数字
		大文字	小文字	
ア 1	アイウエオ アイウエオ			1
カABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜− 0	ワヲン゛゜ー			0

1 TITLE IN/CHARA **押して 文字の種類を選ぶ**

押すたびに
カナ「ア」→ 英大「A」→ 英小「a」→数字「1」

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2 **押して文字を選ぶ**

選んだ文字がカーソルに表示されます。

3 ⏩/FF ⏭/＋ **押す**

文字が確定され、次の文字が入力できます。

入力を途中で止める

[■] を押す。
ただし、[ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

入力済みの文字を変更する

[−/⏮ REW/⏪] または [⏭/＋ ⏩ /FF] で変更する文字にカーソルを合わせる。

- **文字を訂正する**
  文字入力(上記)で上書きし、[⏭/＋ ⏩ /FF] を押す。
- **文字を削除する**
  [DEL PGM/CLEAR] を押す。
- **1 文字あける**
  [SPACE] を押す。
- **文字を挿入する**
  ① 挿入する位置で、挿入する文字の数だけ [SPACE] を押す。
  ② 文字を入力する。(上記)

゛ ゜ —を入力する

[0 ワヲン゛ ゜ —] を数回押す。

記号を入力する

[≧10 !"#] を押す。
押すたびに下の順序で記号が現れます。

! " # $ % & ' ( ) * + , − . / : ; < = > ? @ _ `

1 文字空き（空白）を入力する

[SPACE] を押す。

お知らせ

- 文字の種類は、入力中でも切り換えられます。
- 再生、録音が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。
例： 16 時 25 分(午後 4 時 25 分)に合わせる。

1

押して
電源を入れる

2

押す
もう一度押すと元の表示に戻ります。

3

① 回して“CLOCK ADJUST”を選び

CLOCK ADJUST

② [ENTER] を押す

4

10 秒以内

回して時刻を合わせる

CLOCK 16:25

時、分を同時に合わせます。

5

押して
時計をスタートさせる

CLOCK 16:25

- 時報などに合わせて押します。
- 約 1 秒で元の表示に戻ります。

時計を確認するには

リモコン

DISPLAY

数回押して、
“CLOCK”を表示させ、時計を確認する

CLOCK 16:25

時計を合わせる

電源「切」時は、時計を合わせていれば、時計表示になります。(リモコンの[TIMER SET/CHECK]を押すと照明が点灯し、見やすくなります。約 3 秒で自動的に消灯します。)

お知らせ

- 時計精度は室温において月差約 1 分です。定期的な時刻補正をおすすめします。
- 停電後、約 74 分以内に復帰した場合、時計表示全体が点滅します。
  この点滅は一度電源を入れると解除されます。このとき、時計が合っていることを確認してください。
- 時計を合わせると、**デモ機能** (➡ 2 ページ) は自動的に「切」になります。

おめざめタイマーを使う

- 開始時刻に電源が入り、好みの音源（ソース）を再生し、終了時刻に電源が自動的に切れます。
- 一度時刻設定しておくと、あとはソースの設定を変えるだけで、違うソースで使えます。

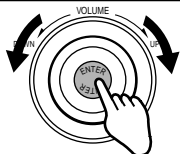
準備

① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。(➡ 左ページ)
例： 6:30 ～ 7:40 まで再生する。

タイマー時刻設定（24 時間表示）

1

押す
もう一度押すと元の表示に戻ります。

2

① **回して“TIMER ADJUST”を選び**

TIMER ADJUST

② **[ENTER] を押す**

③ **回して“TIMER PLAY”を選び**

TIMER PLAY

④ **[ENTER] を押す**

10 秒以内

⑤ **回して開始時刻に合わせ**

ON　OFF
6:30 →→ 0:00

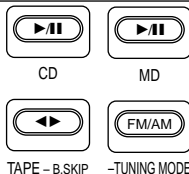
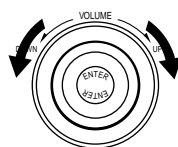
⑥ **[ENTER] を押す**

⑦ **回して終了時刻に合わせ**

ON　OFF
6:30 →→ 7:40

⑧ **[ENTER] を押す**

タイマー実行設定

3

ソースと音量を選ぶ
① **ソースを再生し、**
好みの曲を予約するには（➡ 16 ページ）

② **音量を調節し、**

③ **CD/MD/テープは再生を止める**

4

リモコン

TIMER SET/CHECK

押して“TIMER-PLAY”を選ぶ

⏲PLAY
TIMER-PLAY

押すたびに
TIMER-OFF（解除）→ALARM→⏲PLAY
↑　↓
⏲REC ←── ALARM　⏲PLAY
(MD REC/TAPE REC)

時刻設定していないタイマーは表示されません

5

POWER ⏻/I

押して電源を切る

電源を切らないと、タイマーが動作しません。

開始時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は、“⏲PLAY” が点滅）

タイマー設定後でも、再生や録音はできます
操作の後は、必ず電源を切ります。
電源を切らないと、タイマーが動作しません。

おめざめタイマー

解除する
電源を入れ、リモコンの [TIMER SET/CHECK] を押して “TIMER-OFF” を選ぶ。
- 再び実行させるときは、“⏲PLAY” を選び、電源を切る。

設定内容を確認する
電源「切」のときに、リモコンの [TIMER SET/CHECK] を押す。

別売り機器を使ったタイマー設定
手順 **3** でリモコンの [P-MD/AUX] を押して “AUX” にし、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定する。

操作をまちがえたり、設定内容を変える

時刻を変えるとき
電源を入れ、 タイマー時刻設定 を行い、電源を切る。

ソースを変えるとき
① [TIMER SET/CHECK] を押して “TIMER-OFF” を選ぶ。
② タイマー実行設定 をする。

お知らせ
- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- **アラームタイマー**（➡ 44 ページ）と同時に設定するときは、手順 **4** で “ALARM ⏲PLAY” を選びます。

アラームタイマー

アラーム音を停止する
アラームが鳴っているときに [■] を押す。

アラーム音を一時停止する（DOZE ドーズ機能）
アラームが鳴っているときに
- マルチ JOG を回すか [ENTER] を押す。
- [MENU −DEMO] を押す。

約 6 分後に、再度アラーム音が鳴ります。

解除する
電源を入れ、リモコンの [TIMER SET/CHECK] を押して “TIMER-OFF” を選ぶ。

設定内容を確認する
電源「切」のときにリモコンの [TIMER SET/CHECK] を押す。

お知らせ

- アラームタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。
- 再生中や、おめざめタイマーと設定時刻が重なったときは、ミキシングした音になります。
- 録音中にアラームが鳴ってもアラーム音は録音されません。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- **おめざめタイマー**（➡ 43 ページ）と同時に設定するときは、手順 3 で “ALARM ⏲PLAY” を選びます。
- **停止・一時停止の操作**（➡ 上記）をしないときは、約 60 分間鳴り続けます。（音量は調節できません）
- 電源「切」時にアラーム音が鳴ると、表示部の照明が点灯し、一時停止の操作をすると消えます。
- アラーム音が鳴っているときや一時停止中は “ALARM” が点滅します。

アラームタイマーを使う

指定した時刻にアラーム音を鳴らします。

準備

① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。（➡ 42 ページ）
例： 6:45 にアラーム音を鳴らす。

タイマー時刻設定（24 時間表示）

1

押す

2

① 回して“TIMER ADJUST”を選び

TIMER ADJUST

② [ENTER] を押す

③ 回して“ALARM”を選び

ALARM

④ [ENTER] を押す

10 秒以内

⑤ 回して開始時刻に合わせ

ALARM 6:45

⑥ [ENTER] を押す

タイマー実行設定

3 リモコン

TIMER SET/CHECK

押して“ALARM”を選ぶ

ALARM
ALARM 6:45

押すたびに

TIMER-OFF（解除）→ **ALARM** → ⏲PLAY → ALARM ⏲PLAY → ⏲REC (MD REC/TAPE REC) → TIMER-OFF

時刻設定していないタイマーは表示されません。

指定した時刻になると、アラーム音が鳴ります。

留守録タイマーを使う

開始時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻に電源が自動的に切れます。

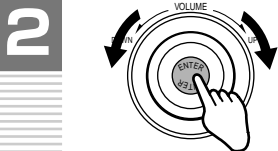
準備

① 電源を入れ、録音用MDまたはテープを入れる。
② 時計を合わせる。(➡ 42 ページ)
例： 18:30 ～ 20:00まで、放送を録音する。

タイマー時刻設定(24時間表示)

1

押す

2

① **回して“TIMER ADJUST”を選び**

TIMER ADJUST

② **[ENTER] を押す**

③ **回して“TIMER REC”を選び**

TIMER REC

④ **[ENTER] を押す**

10秒以内

⑤ **回して開始時刻に合わせ**

ON OFF
18:30 →→ 0:00

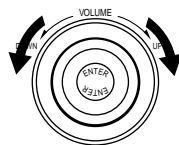
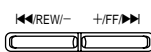
⑥ **[ENTER] を押す**

⑦ **回して終了時刻に合わせ**

ON OFF
18:30 →→20:00

⑧ **[ENTER] を押す**

タイマー実行設定

3

放送を受信する

① **“FM”または“AM”を選ぶ(➡ 21 ページ)**

② **周波数を選ぶ**
記憶させた放送局を選ぶには(➡ 23 ページ)

③ **音量を調節する**
必要に応じて下記を設定する
録音モード(➡ 28 ページ)
MDの録音時間(LPモード)
(➡ 25 ページ)

4

リモコン

押して“MD REC”または“TAPE REC”を選ぶ

例：
MD REC

REC
TIMER-REC
MD REC

押すたびに

TIMER-OFF (解除)→ALARM→PLAY
↑ ↓
REC←── ALARM PLAY
(MD REC/TAPE REC)

時刻設定していないタイマーは表示されません。

5

POWER

押して
電源を切る

電源を切らないと、タイマーが動作しません。

- 開始時刻の約30秒前になると電源が入り、自動的に録音が始まります。(動作中は“ REC”が点滅)
- 設定した音量までフェードイン(除々に大きく)しますが、録音される音には影響しません。

タイマー設定後でも、再生や録音はできます

操作後は、録音用MDを入れ、必ず電源を切ります。電源を切らないとタイマーが動作しません。

留守録タイマー

解除する

電源を入れ、リモコンの[TIMER SET/CHECK]を押して“TIMER-OFF”を選ぶ。
- 再び実行させるときは、“TIMER-REC”を選び、電源を切る。

操作をまちがえたり、設定内容を変えるときは

時刻を変えるとき
電源を入れ、タイマー時刻設定を行い、電源を切る。
ソースを変えるとき
① [TIMER SET/CHECK]を押して“TIMER-OFF”を選ぶ。
② タイマー実行設定をする。

設定内容を確認する

電源「切」のときに、リモコンの[TIMER SET/CHECK]を押す。

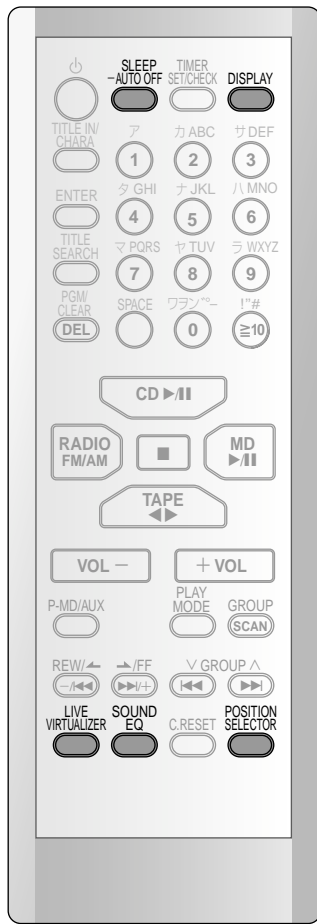
お知らせ

- 留守録タイマーはおめざめタイマー、アラームタイマーと同時に設定できません。
- ターンバック録音モードでタイマー録音する場合でも、設定した開始時刻から録音が始まります。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、再生を停止し、自動的に電源が切れます。

電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ）

ボタン操作のない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

おやすみタイマー

解除する

[SLEEP – AUTO OFF] を押して “SLEEP OFF” を選ぶ。

残り時間を確かめる

[SLEEP – AUTO OFF] を 1 回押す。残り時間が約 5 秒間表示されます。

残り時間を変える

[SLEEP – AUTO OFF] を押して新たに時間を指定する。

お知らせ

おやすみタイマーが 10 分以上残っていても、**オートオフ**を働かせているときは、オートオフが優先します。

オートオフ

解除する

“AUTO OFF – OFF –” と表示するまで [SLEEP – AUTO OFF] を押し続ける。

お知らせ

- オートオフ機能は、CD、MD、テープの停止中のみ働きます。
  ラジオを聞いているときは働きません。
- オートオフ機能を ON にしておくと、電源「入」時に “AUTO OFF” と表示されます。
- **おやすみタイマー**が 10 分以上残っていても、オートオフを働かせているときは、オートオフが優先します。

メモリーの保持について

電源プラグを 3 分間以上、コンセントに差し込んでいれば、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いても、右のように、本機は設定したメモリー内容を保持します。
保持期間を超えて、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いておくと、メモリー内容は消えます。
メモリー内容が消えたときは、もう一度設定してください。
メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。（電源「切」時の消費電力：約 0.8 W）

● 約 74 分間、保持する項目

- 現在時刻
- タイマー設定（時刻以外の内容）

● 約 1 週間、保持する項目

- タイマー設定（時刻）
- 放送局の設定（エリアバンク）
- 放送局の設定（マニュアルメモリー）
- MD のプログラム内容
- デモ機能の設定
- 音質の設定、など

音質・音場効果/便利な機能

音質・音場効果を選ぶ

好みの音質や音場効果を楽しめます。

臨場感を高める　L.V.（ライブバーチャライザー）

LIVE VIRTUALIZER

押して
"L. V. ON"を選ぶ

LV
L.V. ON

押すたびに
L.V. ON ⟷ L.V. OFF（解除）

効果はステレオ音声のみで、音楽によって異なります。

音質を切り換える　EQ（イコライザー）

SOUND EQ

押して
音質モードを選ぶ

EQ
HEAVY

押すたびに
→HEAVY：ロックなど、パンチを効かせるとき
↓
CLEAR：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
↓
SOFT：　BGMとして聞くとき
↓
VOCAL：ボーカルにつやを出したいとき
↓
EQ-OFF：音質効果を使わないとき

お買い上げ時の設定は"HEAVY"です。

時間やタイトルなどの情報を見る（ディスプレイ）

タイトルや残り時間などいろいろな情報が表示されます。

DISPLAY

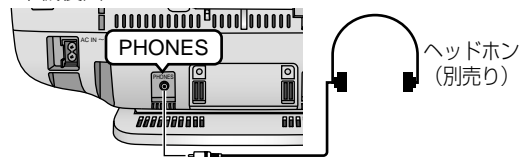
押す
押すたびにいろいろな情報が表示されます。
例：録音用MDの残り時間

MD Rem 53:01

表示される内容は、現在行っている操作や音源（ソース）によって異なります。

ヘッドホンを使う

ヘッドホン
- プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
- 推奨品： RP-HT530、RP-HT242（ともに別売り）

本機後面

① 音量を下げる。
② 本機後面のPHONES端子にヘッドホンを接続し、音量を調節する。

お願い
耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

別売り品の品番は、2003年6月現在のものです。品番は変更されることがあります。

スピーカーの音量バランスを調節する（ポジションセレクター）

スピーカーの音量バランス（左右2段階）を調節することで、本機正面で聞いていなくても、本機正面で聞いているような音場が楽しめます。

POSITION SELECTOR

押して左右の音量が同じ大きさになるように調節する

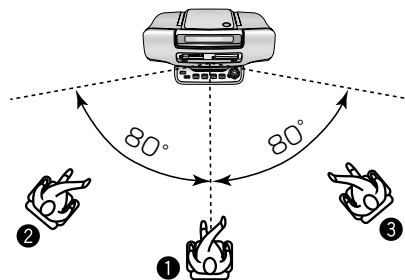
PS-ON　：ポジションセレクター「ON」のとき
PS-OFF　：ポジションセレクター「OFF」のとき

PS-ON
≪≪≪L R≫

聞いている位置が本機正面の場合（❶）
≪L R≫

聞いている位置が本機の左側の場合（❷）
≪L R≫≫≫　：本機正面から20°～60°のとき
≪L R≫≫≫≫≫　：本機正面から50°～80°のとき

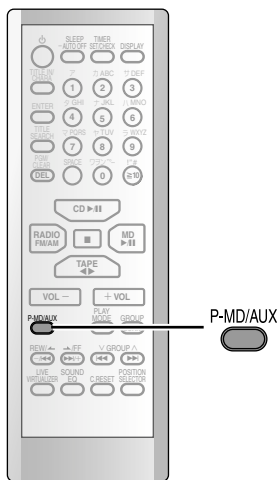
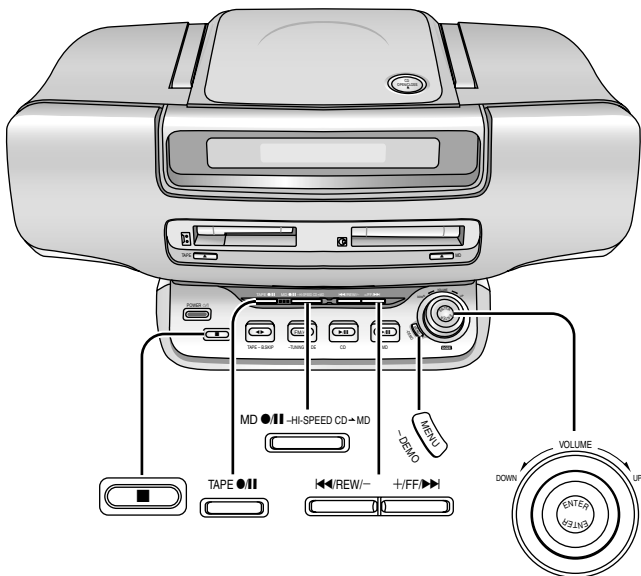
聞いている位置が本機の右側の場合（❸）
≪≪≪L R≫　：本機正面から20°～60°のとき
≪≪≪≪≪L R≫　：本機正面から50°～80°のとき

ポジションセレクター

お知らせ
- ポジションセレクター機能をONにしておくと、電源「入」時に設定されている状態を表示します。
- ヘッドホンを使用するときは、ポジションセレクターを"PS-OFF"にしてください。
- 左記の角度は、良い効果を得るための目安です。本機との距離や部屋のつくりなどによっては、最適値が変わる場合があります。

別売り機器を使う

別売り品の品番は、2003年6月現在のものです。品番は変更されることがあります。

共通の準備

- **電源を入れてから録音用 MDまたはテープ を本体に入れる。**
- **必要に応じて MD の録音時間（LPモード）を選ぶ。**（➡ 25 ページ）
- **電源を入れてからテープを本体に入れる。**
- **必要に応じて テープのリバースモードを選ぶ。**（➡ 27 ページ）

共通の項目

途中で止める

[■] を押す。

ソース（音源）や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

別売り機器をつなぐ

電源を切った状態で接続します。

アナログプレーヤーを接続する場合

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。

推奨品：当社製アナログプレーヤー
SL-J8（フォノイコライザー内蔵）

- SL-J8を本機に接続するには、ピンミニコード（別売り：RP-CAPM3G15）とピンプラグアダプター（別売り：RP-PA66A）が必要です。
本機のP-MD/AUX 端子に接続します。
- フォノイコライザーを内蔵していないプレーヤーを本機に接続するには、サービスルート扱いのフォノイコライザー（別売り：RFKZ0088KIT）が必要です。
そのまま接続すると、音が小さくなります。

録音モードについて（MDに録音時）

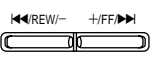
つないだ機器によって、選択できる録音モードは異なります。

MANUAL（マニュアル）：通常の録音モードです。トラックマークは自動で付きません。

SYNCHRO（シンクロ）：接続した機器の再生が始まると、自動的に録音も始まるモードです。無音の状態が約3秒続くと録音が一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置に、自動的にトラックマークが付きます。

TURN BACK（ターンバック）：頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。

TIME MARK（タイムマーク）：5分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

TURN/TIME（ターンタイム）：数秒前の音から録音し、5分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

MD ネットワークで MD から MD に録音

全曲録音、曲を選んでの録音、タイトルコピーが簡単にできます。

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤー

1 リモコン P-MD/AUX **押して“P-MD”を選ぶ**

ポータブル MD 側の総曲数

P-MD (18Tr)

押すたびに AUX ⟷ P-MD

2 全曲録音する

MD ●/II –HI-SPEED CD➡MD **押す**

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。

1 曲ずつ録音する

⏮/REW/– +/FF/⏭ **押して、曲番を選ぶ**

確認の意味で、選んだ曲が自動的に再生されます。

▼

MD ●/II –HI-SPEED CD➡MD **再生が始まってから押す**

自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
1 曲の録音が終わると、自動停止します。

MD ネットワークで録音する

お願い

操作中は MD ネットワークコードを抜かないでください。

お知らせ

- MD ネットワーク機能で高速録音はできません。おめざめタイマー、留守録タイマーと組み合わせて使うこともできません。
- 本機側の MD にディスクタイトルが記録されている場合は、ディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能でグループ名はコピーされません。
- MD ネットワーク機能で録音終了後、ポータブル MD プレーヤーは節電のため、約 4 分後に自動的に電源「切」になります。(点滅表示になります。再び通信確立するには、リモコンの [P-MD/AUX] を押してください)

別売り機器から録音する

お知らせ

- SYNCHRO モードでは音が一定レベルに達したところから録音が始まるため、曲によっては頭の部分が録音されないことがあります。その場合は SYNCHRO モードを使用せずに録音し、後からディバイド機能(➡ 35 ページ)などで編集してください。
- マイクを接続すると、SYNCHRO モードで正しく動作しないことがあります。
- SYNCHRO モードでは一時停止できません。

別売り機器から MD・テープに録音

●一般的なポータブル MD プレーヤー
●アナログプレーヤーなど

1 リモコン P-MD/AUX **押して“AUX”を選ぶ**

----- AUX -----

押すたびに AUX ⟷ P-MD

2 リモコン **録音レベルを確認する**

別売り機器のヘッドホン端子と接続しているときは、別売り機器を再生させ、レベル表示が、時々端まで点灯する程度に、別売り機器の音量を調節してください。

レベル表示

P-MD/AUX **押し続けて、入力レベルを選ぶ**

NORMAL ：信号レベルが通常の機器
↕
HIGH ：ポータブル MD など信号レベルが低い機器

3

押す

4

① **回して“REC MODE”を選び**

REC MODE

② **[ENTER] を押す**

③ **回して、録音モードを選び**
(➡ 左ページ「録音モードについて」)
④ **[ENTER] を押す**

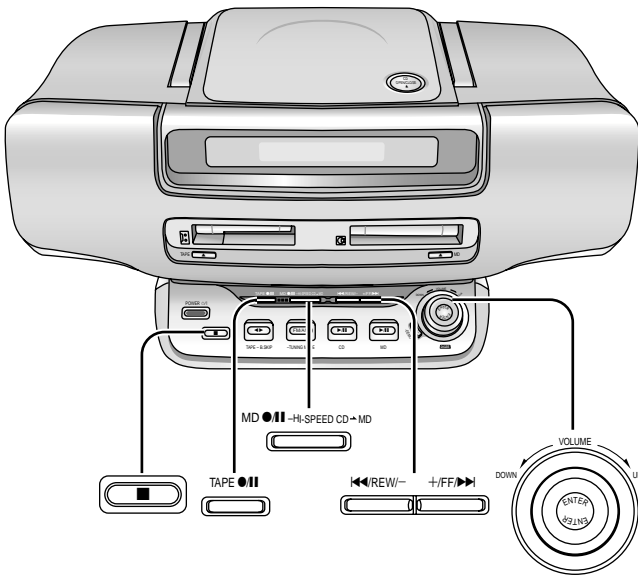
5 MD ●/II –HI-SPEED CD➡MD **押す**

- SYNCHRO モードのときは、一時停止状態になります。別売り機器から信号が入ると、自動的に録音が始まります。
- TURN BACK または TURN/TIME モードのときは録音待機状態になります。もう 1 度 [MD ●/II –HI-SPEED CD➡MD] を押してください。

6 **別売り機器を再生する**

本機のテープに録音する

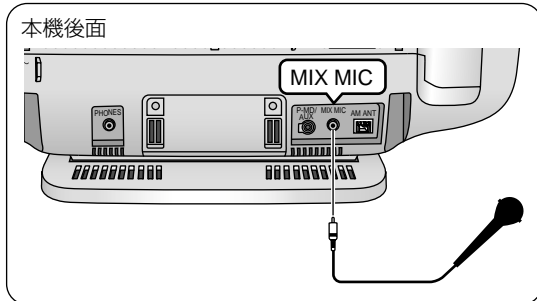
① 手順 **2** までを行う。
② [TAPE ●/II] を押す。
③ 別売り機器を再生する。

別売り品の品番は、2003 年 6 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

マイクを接続する

① 電源を入れる。
② 音量を下げ、本機後面の MIX MIC 端子にマイクを接続する。（スイッチ付きマイクのときは ON にする）

マイク

- プラグタイプ：モノラルミニ（M3）
- 推奨品： RP-VK45（別売り）

本機後面

カラオケを楽しむ

① CD またはテープ、ラジオ、MD、別売り機器（AUX 入力）を再生する。
② カラオケを始め、マルチ JOG を回して、本機の音量を調節する。

拡声器として使う

① [■]を押して、“CD”、“MD” または “TAPE” を選ぶ。
② マルチ JOG を回して、本機の音量を調節する。

録音する

お願い

CD から MD へマイクを使ってミキシング録音するときは、はじめにマイクを接続してください。自動的にアナログ録音に切り換わります。
録音中にマイクを接続してもマイクの音は録音されません。

準備

- 録音用 MD またはテープを入れる。
- 必要に応じて MD の録音時間（LP モード）を選ぶ。（➡ 25 ページ）
- 必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。（➡ 27 ページ）

カラオケを録音する（マイクミキシング）

① CD を入れ、[■] を押して “CD” を選ぶ。
② [◀◀/REW/−] または [＋/FF/▶▶] を押して好みの曲を選ぶ。
③ MD に録音する場合は [MD ●/❚❚ − HI-SPEED CD ➡ MD] を押す。
テープに録音する場合は [TAPE ●/❚❚] を押す。

マイクの音だけを録音する

① [■]を押して、MD に録音する場合は “MD” をTAPE に録音する場合は “TAPE” を選ぶ。
② MD に録音する場合は [MD ●/❚❚ − HI-SPEED CD ➡ MD] を押す。
テープに録音する場合は[TAPE ●/❚❚]を押す。

お知らせ

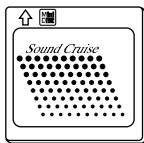
- 音声多重の CD やテープを使っても、歌手の声を消すことはできません。
- マイクの録音中にハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- P-MD モードまたは AUX モード（➡ 49 ページ）で入力レベルを “HIGH” にした場合は、マイクを使用できません。
- MD 再生中のレベルメーターにはマイク入力の信号は含まれません。
- マイクを使わないときは、マイクのプラグを抜いてください。（マイクを接続していると、CD から MD への録音はアナログになります。）
- CD 高速録音（➡ 30 ページ）でマイクミキシングはできません。
- マイクの録音レベルは変更できません。

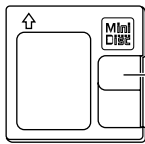
MDについて

MDの種類

■再生専用MD

録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式のMDを「光ディスク」といいます。

■録音用MD

磁気によってデータを記録します。この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。

MDの録音・編集について

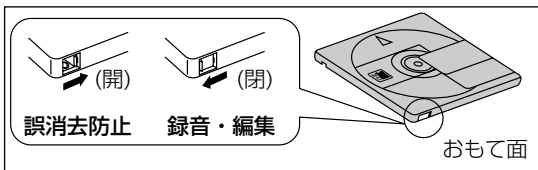
■テープとは違います

録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、**イレース（消去）機能**（➡ 37ページ）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD 1枚への録音曲数は 、収録時間内で最大254曲までです

ただし、MDは2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

MDの誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について

デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CDなどからMDにデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、このMDから、さらに別の MDへはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー”の禁止。）
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音、編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC Writing”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力がMDに正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

■トラックマーク

録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されます。
トラックマークを入れることで、1枚のMDに最大254曲番まで記録することができます。

■TOC（トック）（Table of Contents）

MDには、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や再生時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容をTOC情報といいます。

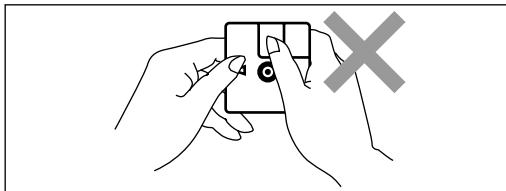
■UTOC（ユートック）（User Table of Contents）

利用者が自由に書き換えられるTOCです。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MDにUTOC情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing”と表示され注意を促します。

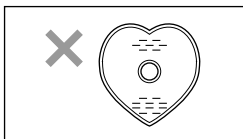
■MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のあるMDは、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

CDについて

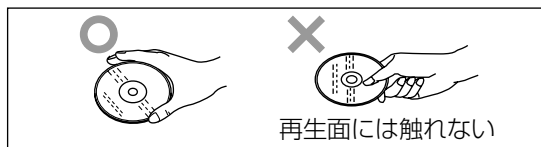
COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。

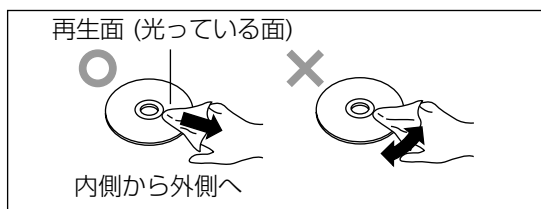
ただし、ハート型など、特殊形状のCDはご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると、正しく再生できない場合があります。

■CD-RとCD-RWの再生について

CD-DAフォーマットで記録された音楽用CD-RとCD-RW再生に対応しています。録音終了時にファイナライズ※が必要です。
ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※音楽用CD-R/CD-RW再生対応機器で再生できるように処理すること。

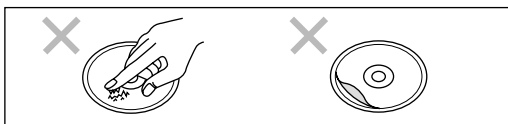
■持ちかた

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
（サービスルート扱い）

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CDそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

テープについて

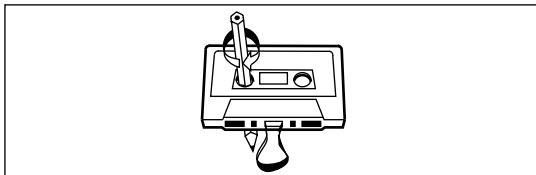
■100分を越えるテープ

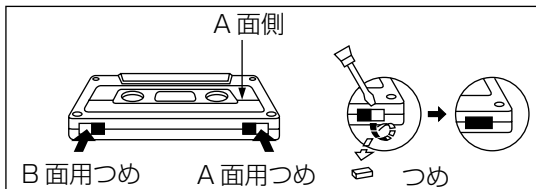
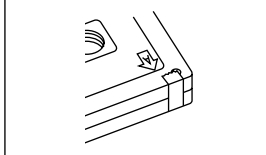
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■録音したテープを誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■録音を消して無音テープを作るには

① 電源を入れ、録音済みテープを入れる。
② [■] を押して、"TAPE" を選ぶ。
③ リモコンの [PLAY MODE] を押して、リバースモードを選ぶ。
④ 本体の [TAPE ●/❚❚] を押す。

取扱上のお願い

テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。

- テープに付属している以外のシール（特に厚みのあるシール）を貼らない
- 指定以外の場所にシールを貼らない

保管(CD・MD・テープ)

■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CD・MDを良い音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
CDレンズクリーナー（品番 RP-CL510）
MDレンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■テープを良い音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481-2121	静岡支部	☎(054) 254-2621
北海道支部	☎(011) 221-5088	中部支部	☎(052) 583-7590
盛岡支部	☎(019) 652-3201	北陸支部	☎(076) 221-3602
仙台支部	☎(022) 264-2266	京都支部	☎(075) 251-0134
長野支部	☎(026) 225-7111	大阪支部	☎(06) 6244-0351
大宮支部	☎(048) 643-5461	神戸支部	☎(078) 322-0561
上野支部	☎(03) 3832-1033	中国支部	☎(082) 249-6362
東京支部	☎(03) 3562-4455	四国支部	☎(087) 821-9191
西東京支部	☎(03) 3232-8301	九州支部	☎(092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎(03) 5286-1671	鹿児島支部	☎(099) 224-6211
立川支部	☎(042) 529-1500	那覇支部	☎(098) 863-1228
横浜支部	☎(045) 662-6551		

主な仕様

ラジオ

受信周波数	
FM	：76.0 〜 90.0 MHz（TV 1ch 〜 3ch）
AM	：522 〜 1629 kHz（9 kHz ステップ）

MDデッキ

記録方式	：磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	：半導体レーザー（波長 780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数	：44.1 kHz
圧縮/伸張方式	：ATRAC/ATRAC 3（MDLP）方式
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下

テープレコーダー

トラック方式	：ステレオ
録音方式	：交流バイアス
消去方式	：交流消去
モニター方式	：バリアブルサウンドモニター
周波数範囲	
ノーマルポジション	：70 〜 15,000 Hz（JEITA）

CDプレーヤー

サンプリング周波数	：44.1 kHz
量子化	：16 ビット直線
光源	：半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下
DAコンバーター	：MASH（1 ビット DAC）

共通

スピーカー	：7 cm/6 Ω フルレンジ 2 個
入力端子	
MIX MIC	：モノラルミニ（M3）（適合マイクインピーダンス 200 〜 600 Ω）
P-MD（6P）/AUX（M3）	
P-MD、AUX（HIGH）	：−21 dBV
AUX（NORMAL）	：−8 dBV
出力端子	
PHONES	：ステレオミニ（M3）（適合ヘッドホンインピーダンス 16 〜 64 Ω）
実用最大出力	：6 W（3 W + 3 W）（JEITA）
電源	：AC100 V、50/60 Hz
消費電力	：22 W
最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）	：431 × 180 × 272 mm（JEITA）
質量	：約 4.8 kg

電源切時の消費電力：約 0.8 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

Q & A(よくあるご質問)

	Q(質問)	A(回答)	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	P-MD/AUX 端子に接続します。 現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプが必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	48
	テレビをつなぎたい	P-MD/AUX 端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	48
	有線放送をつなぎたい	P-MD/AUX 端子に接続します。	48
MD	MD ネットワークに対応している機器は?	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	48
	長時間ステレオ録音をしたい	LP モード 2 倍/4 倍の設定をしてから録音します。	25
	MD の残り時間を知りたい	MD 停止中にリモコンの [DISPLAY] を数回押して "MD Rem" を表示させます。	47
	録音した曲に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。 MD の残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	37
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。 頭出しは不要です。	—
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる?	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。	—
	LP2、LP4 で録音された MD はどのプレーヤーでも再生できる?	MD**LP** に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に "LP:" と表示され、無音で再生されます。	—
	長時間ステレオ録音した曲の再生はどうやって切り換えるの?	録音された状態によって、自動的に切り換わります。	—
	LP2、LP4 で録音された MD は、音質が悪くなる?	LP4 では、ごくまれに雑音が録音されることがあります。標準時間録音(LP MODE OFF)または LP2 録音をおすすめします。	24
	高速録音すると音質は悪くなる?	高速録音しても音質には影響ありません。	—
	ディスクタイトルが正しく表示されない	本機でグループ編集を行った MD を、グループ編集未対応の機種で再生するとディスクタイトルが正しく表示されません。	—
その他	別売り機器(AUX)からの出力が小さいが?	推奨のコードをお使いください。	48
	引っ越しするのだが、そのまま使える?	東日本・西日本に関係なく使えます。 ラジオのエリアバンクを設定し直してください。	22
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも1つの方法です。	47

こんな表示が出たら

表　示	意味または処理
ADJUST CLOCK	時計を合わせてください。
ADJUST TIMER	タイマーの時刻を設定してください。
BLANK DISC	MD に一曲も録音されていません。聞くときは録音済みの MD を入れてください。録音はそのまま行えます。
CAN NOT EDIT	再生中のタイトル入力後、MD 編集はできません。プログラム、ランダム、グループ設定中は MD の編集やタイトル入力できません。各設定を解除してから編集操作を行ってください。
CAN'T MEMORY	コピー元の MD タイトルが記憶できていません。再度操作してください。
CHANGE TIME	タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。
DISC、PROTECTED（交互に表示）	MD 誤消去防止状態になっています。 録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
LOAD ERROR PRESS EJECT（交互に表示）	[▲] を押して、MD を取り出してください。挿入方向とシャッターが閉じていることを確認して、再度入れてください。
EMERGENCY、STOP（交互に表示）	録音中に異常が発生しました。MD を入れ直してください。
ERROR	操作が違います。
GROUP DATA FULL	MD の領域が足りません。タイトルを短くするか、消去してください。
NOT COMBINE	コンバインできません。（MD の記録方式上の制約です。）
NOT DIVIDE	ディバイドできません。（MD の記録方式上の制約です。）
NOT FIND	タイトルサーチで検索したが該当する曲が見つかっていません。もう 1 度 [TITLE SEARCH] を押して別の曲名を入力して検索してください。
PlaybackDISC	再生専用 MD のため、録音や編集はできません。
P-MD ERROR	ポータブル MD との通信エラーです。再度リモコンの[P-MD/AUX]を押してください。
P-MD（点滅表示）	ポータブル MD との通信が中断しています。再度リモコンの [P-MD/AUX] を押してください。
REC ERROR	録音中に異常が発生しました。表示中は、音声は録音されていません。
SCMS、CAN NOT COPY（交互に表示）	ビデオ CD、CD-ROM、コピー禁止が設定されたディスクなどからは録音できません。 SCMS（➡ 51 ページ）が記録された CD-R や CD-RW から MD に録音しようとしました。デジタルでは録音できませんので録音モードを "ANALOG REC?"（➡ 24 ページ）に切り換えてください。
SELECT OVER	これ以上イレースするトラックを選べません。
TAPE、PROTECTED（交互に表示）	テープのつめが折れているため録音できません。 録音するには、テープのつめの部分にセロハンテープなどを貼ってください。
TITLE FULL（約 2 秒点灯）	タイトルを、本機にこれ以上記憶できません。 各トラックのタイトル入力は約 100 文字までです。
TITLE OVER	タイトルを書き込むだけの空きがない状態でまとめてタイトルを入力しようとしました。録音または再生が終了して "UTOC Writing" の点滅後に続きを入力してください。
TOC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。 電源を切/入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。MD を取り替えてください。
TOC Reading	MD の情報を読み込み中です。この間は操作できません。
TRACK NUMBER、 NOT EQUAL（交互に表示）	曲数の違う MD へはタイトルステーション機能は使えません。
TRACKxxx、PROTECTED、 ERASExx??（交互に表示）	曲にプロテクト（保護）がかかっています。消去していいか確認してください。 消去することはできます。
UTOC FULL	MD に情報を書き込める余白がありません。 不要なタイトルや曲を消去してください。（UTOC FULL の状態ではディバイドもできません。）

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
表示部	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いています。	デモ機能を「切」にしてください。 時計を合わせてください。	2、42
システム全体に共通	音が出ない。	音量が最小になっていませんか。	音量を調節してください。	10
		ヘッドホンを接続していませんか。	ヘッドホンをはずしてください。	47
	設定時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか。	おめざめ、留守録タイマーは電源を切らないと動作しません。	43、45
		“◴PLAY、◴REC、SLEEP、ALARM”が表示していますか。	おめざめ、留守録、おやすみ、アラームの各タイマーのタイマー実行設定を行って表示させてください。	43～46
	電源「切」に時計が表示されない。		時計を合わせてください。	42
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	電源プラグを長期間抜いていませんか。	再度設定してください。 メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。	46
	表示が出ない。	電源コードを正しく接続していますか。	電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込んでください。	7
CD	再生できない。 CD を入れても、曲数などが表示されない。	CD が裏表逆になっていませんか。	ラベル面を上にして入れてください。	11
		規格外の CD を使用していませんか。	規格に合致した CD と取り替えてください。	52
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用してください。	–
	特定の箇所が再生できない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふいてください。	52
	CD の音がとぶ。 CD を録音すると音がとぶ。	CD の裏面に傷や指紋が付いていませんか。	指紋は柔らかい布でふいてください。 傷が付いている場合は、CD を交換してください。	52
	高速録音すると本機が振動する。		故障ではありません。 CD の種類によっては、本機が振動する場合があります。	–
ラジオ	うまく受信できない。 雑音やひずみが多い。	FM ホイップアンテナを調節しましたか。	FM ホイップアンテナの長さや向きを変えてください。	21
		AM ループアンテナを接続していますか。	AM ループアンテナの向きや位置を変えてください。 AM ループアンテナを本体から離してください。	7、21
		テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源を切ってください。	–
		送信所が遠くありませんか。	送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。窓際など、条件の良い場所に設置してください。	21
		アンテナのコードが電源コードに接近していませんか。	アンテナのコードと電源コードを離してください。	–
	テレビ放送が受信できない。	ラジオが AM バンドになっていませんか。	テレビは 1 ～ 3 チャンネルの音声のみ FM バンドで受信可能です。	21

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
MD	再生または録音できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用してください。	–
		再生専用の MD に録音しようとしていませんか。	録音用 MD を入れてください。	51
		誤消去防止状態になっていませんか。	MD の誤消去防止つまみを閉じてください。	
		すでに録音された時間または曲数（上限 254 曲）がいっぱいになっていませんか。	不要な曲があれば消してから録音してください。（MD は、たとえ 1 秒の録音でも、約 2 秒分の領域を使うため、短い曲を多く録音すると、再生側の時間表示より録音時間が少し長くなります。）	51
	MD を入れても曲数などが表示されない。	MD 以外のモード（CD、ラジオなど）になっていませんか。	[■] を押して“MD”に切り換えてください。	–
		MD が破損しているかもしれません。	別の MD で確認してみてください。	
	MD を入れても自動的に引き込まれない。 また、入れるのに力がいる。	排出動作中の MD に、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおしてください。	–
	コンバインやディバイドができない。また、曲を消しても残り時間が増えない。	録音・消去をくり返していませんか。	録音データがしだいに細かく分断されていくため左記のような状態になることがあります。（MD の記録方式上の制約です。）この時サーチを行うと、音が途切れたりすることがあります。	–
			録音モード（LP MODE OFF/LP2/LP4/モノラル長時間）の異なる曲は、1 曲にまとめることができません。	–
	MD の操作ができない。	一時的に内部回路で不具合が起きた可能性があります。	電源を切/入してから操作してください。異常が再発するときは販売店にご相談ください。	–
	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	39
	ディスクタイトルが正しく表示されない。		本機でグループ編集を行った MD を、グループ編集未対応の機種で再生するとディスクタイトルが正しく表示されません。	–
	LP4 モードで録音された曲で若干の音漏れが生じる。		LP4 モードで録音された曲をつないだり、分けたりすると、つないだ部分や分けた部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。	
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッドが汚れていませんか。	ヘッド部を清掃してください。	53
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。	52
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れてください。	6
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換してください。	

メモリーのリセット（初期化）

次のようなときは、右の手順で、メモリーをリセット（初期化）してください。
- ボタンを押しても何も反応しない。
- メモリー内容を消して、再度設定したい。

● メモリー内容をリセット（初期化）するには

① 電源プラグを、コンセントから抜く
② 本体の [POWER ⏻/I] を押し続けながら
③ 電源プラグをコンセントに差し込み
　表示部に“------------”が表示されたら
④ [POWER ⏻/I] を離す

● メモリーをリセット（初期化）すると

- 高速録音は約 74 分間経過しないとできません。
- 時計、放送局などは再度設定が必要です。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
● 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
● その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間
当社はパーソナル MD システムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
56 ～ 57 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品　名	パーソナル MD システム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	RX-MDX81	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…06-6907-1187

FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

- **札幌** 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
- **旭川** 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151
- **帯広** 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
- **函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

- **青森** 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712
- **秋田** 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600
- **岩手** 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120
- **宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
- **山形** 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
- **福島** 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

- **栃木** 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555
- **群馬** 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109
- **茨城** つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756
- **埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
- **千葉** 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6011
- **東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
- **山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
- **神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
- **新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

- **石川** 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683
- **富山** 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705
- **福井** 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606
- **長野** 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209
- **静岡** 静岡市西島765 ☎(054)287-9000
- **名古屋** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
- **岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
- **岐阜** 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
- **高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
- **三重** 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

- **滋賀** 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021
- **京都** 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636
- **大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
- **奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
- **和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
- **兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

- **鳥取** 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
- **米子** 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
- **松江** 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128
- **出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
- **浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
- **岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
- **広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
- **山口** 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050

四国地区

- **香川** 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477
- **徳島** 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125
- **高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
- **愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

- **福岡** 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
- **佐賀** 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
- **長崎** 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
- **大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
- **宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
- **熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
- **天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
- **鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
- **大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

- **沖縄** 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0503

さくいん

Panasonic パーソナル MDシステム RX-MDX81 取扱説明書

愛情点検

長年ご使用のパーソナルMDシステムの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

販売店名	☎( ) −	品番	RX-MDX81
お客様ご相談窓口	☎( ) −	お買い上げ日	年 月 日

松下電器産業株式会社 ネットワーク事業グループ

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT7127-7S

H0603KM7054